

平成27（2015）年度
「子どもとその保護者
の食習慣と生活習慣」
に関する実態調査
報告書

（相双地域の子どもたち―震災4年目の姿―）

平成29年3月

福島県相双保健福祉事務所

尚絅学院大学

はじめに

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故から6年が経過し、避難市町村における避難指示の解除と復興に向けた取組が進んできております。

一方、相双地域の子どもたちの取り巻く環境は大きく変化し、長引く避難生活の影響により、肥満や体力の低下、う蝕の増加等が懸念されております。

県では、平成26年度より、保健福祉部、農林水産部、教育庁が連携し、「ふくしまから はじめよう。元気なふくしまっ子食環境整備事業」を推進してまいりましたが、相双地域におきましても、定期的に「子どもの食を考える相双地域ネットワーク会議」を開催し、管内の子どもたちの健康課題や食育推進について、関係機関と協議を進めてまいりました。

その取組のひとつとして、尚絅学院大学の協力のもと、相双地域の幼稚園・保育所・認定こども園を対象として、食育の取組状況や子どもたちの健康状況、また、子どもと保護者の食習慣や生活習慣に関する実態調査を実施し、報告書を作成しました。

本報告書が、各々の関係機関において、これからの相双地域の子どもたちや保護者の食育を進めるうえで、少しでも参考になれば幸いです。

終わりに、調査に御協力いただきました相双地域の幼稚園・保育所・こども園の関係者及び保護者の皆様、調査票の検討に御協力いただきました本会議ワーキング部会構成委員の皆様、尚絅学院大学の先生方に、厚く御礼を申し上げます。

平成29年3月

福島県相双保健福祉事務所長 飯沼 秀敏

目次

	(ページ)
I 調査方法の概要	1
II 調査結果の概要	3
III 調査結果	
第1部 子どもの生活習慣や健康状態に関すること	
1 生活習慣に関する状況	5
2 健康状態に関する状況	13
第2部 子どもの食事に関すること	
1 子どもの食事に関する状況	19
第3部 保護者の精神健康度と子どもとの関連に関すること	
1 保護者の精神健康度について	25
第4部 保護者の子育てに関すること	
1 子育て家庭に必要な地域サポートについて	35
2 保護者の食やスポーツに関するイベントの参加状況	37
第5部 施設の食育推進に関すること	
1 保健業務の状況	39
2 食育の取組状況	41
3 運動や外遊びの状況	47
4 おやつを提供状況	49
IV 資料	50

I 調査方法の概要

1 調査目的

相双地域では、子どもたちの肥満やう蝕が増加傾向にあり、その要因として食環境が関連していると考えられていることから、幼児期の食環境について、保護者の生活状況も含めて実態把握をし、関係機関が連携して対策を構築できる基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査対象

- ・相双地域（双葉町、浪江町を除く10市町村、p52の地図参照。）で開設している保育所、幼稚園及び認定こども園（東京電力福島第一原子力発電所事故のため、避難先で再開している公立の施設を含む。）で事前に同意が得られた37施設
- ・上記施設に通園している3歳以上の子ども（平成28年2月1日現在）

3 調査時期

平成28年2月

4 調査様式及び内容

調査票は、子どもの食を考える相双地域ネットワーク会議ワーキング部会で決定し、p54～69のとおり、施設用と保護者用の2種類とした。

施設用：施設の状況、保健業務（身体測定、歯科検診）の状況、食育の取組状況、運動や外遊びの状況、おやつの提供状況

保護者用：世帯構成、子どもの状況（生活習慣、健康状態、運動状況、食習慣）保護者自身の状況（健康状態、精神健康度(GHQ-12))、子育てに関すること

5 調査方法

施設用：公立保育所、幼稚園及び認定こども園は各市町村担当課を通じ、私立保育所・幼稚園は直接配付・回収した。

保護者用：保育所、幼稚園及び認定こども園を通じ、調査票を対象者に配付・回収した。

6 集計対象

施設用：回答があった34施設を集計対象とした。（次ページの回答施設の概要を参照。）

保護者用：調査協力が得られた3歳以上の子どもは、1,790名であり、このうち、回答に不備があったものを除き、1,548名を集計対象とした。（次ページの回答者の概要を参照。）

7 集計及び統計方法

各質問紙のデータを機械的に読み込み、自動（OCR）でエクセルスプレッドシート用データに変換した。

その後、人的作業によりデータを原票と照合し、分析は、SPSSを用いて、 χ^2 検定、t検定で行った。

○ 回答施設の概要

・配布・回収数

	市町村名	配布数(回収数)			回収率
		保育所	幼稚園	こども園	
現地で開所	相馬市	4(2)	9(9)	-	91.7%
	南相馬市	6(6)	7(7)	-	100.0%
	広野町	-	1(1)	-	100.0%
	川内村	-	-	1(1)	100.0%
	新地町	3(3)	-	-	100.0%
避難先で開所	檜葉町	-	-	1(1)	100.0%
	富岡町	1(1)	1(0)	-	50.0%
	大熊町	-	1(1)	-	100.0%
	葛尾村	-	1(1)	-	100.0%
	飯館村	-	1(1)	-	100.0%
	全体	14(12)	21(20)	2(2)	91.9%
		37(34)			

○ 回答者の概要

・配布・回収数

市町村名	配布数	回収数	有効回答数 (有効回答率)
相馬市	923	773	672 (86.9%)
南相馬市	781	709	622 (87.7%)
広野町	48	46	41 (89.1%)
檜葉町	25	22	19 (86.4%)
富岡町	22	17	13 (76.5%)
川内村	18	15	14 (93.3%)
大熊町	12	11	6 (54.5%)
葛尾村	11	11	8 (72.7%)
新地町	179	156	127 (81.4%)
飯館村	47	30	26 (86.7%)
全体	2066	1790	1548 (86.5%)

・基本情報

<年齢別>

年齢	集計対象者数		
	男子	女子	総数
3歳	57	58	115
4歳	216	216	432
5歳	291	247	538
6歳	234	229	463
総数	798	750	1,548

<居住別>

居住場所	世帯数	割合
一軒家(持ち家)	1,021	66.0%
一軒家(賃貸)	111	7.2%
マンション・アパート(持ち家)	7	0.5%
マンション・アパート(賃貸)	295	19.1%
仮設住宅	59	3.8%
親戚(もしくは知人)宅	11	0.7%
その他	39	2.5%
不詳	5	0.3%
総数	1,548	100.0%

<世帯状況別>

家族構成	世帯数	割合
核家族	945	61.0%
内 父(もしくは母)のみ	70	7.4%
3世代家族	594	38.4%
内 父(もしくは母)のみ	91	15.3%
祖父母(両親なし)	9	0.6%
総数	1,548	100.0%

Ⅱ 調査結果の概要

○ 調査票の内容の項目から、第1部から第5部に分け、調査結果をまとめた。

第1部 子どもの生活習慣や健康状態に関すること

- ・起床時刻は、子が6時台、保護者が6時前、就寝時刻は、子が21時台、保護者が22時台で最も多かった。保護者の就寝時刻が遅ければ遅いほど、子どもの就寝時刻も遅くなる傾向が見られた。
- ・朝食の状況は、ほぼ毎日食べる子どもの起床時刻では6時台が最も多く、就寝時刻では21時台が最も多かった。(p8、図6～7)
- ・夕食の状況は、就寝時刻が遅ければ遅いほど、夕食を食べる時刻も遅い傾向が見られた。また、食事づくり担当者を就労状況別に比較すると、フルタイムの場合夕食が出来合いや外食を利用する割合が多い傾向が見られた。(p9～10、図9～11)
- ・運動習慣の状況は、平日の運動頻度については年齢が上がるにつれて運動頻度が高い傾向が見られたが、休日では年齢別での差は見られなかった。(p11、図12～13)
- ・子どもの肥満度は、ふつうより肥満度が高い子ども、ふつうより肥満度が低い子どもともに全国の数値よりも高い傾向にあった。(p13、表1)
- ・肥満傾向児とやせ傾向児について、おやつを与える状況を見ると、15～17時までの間は5割以上の回答者がおやつの量を決めていたが、夕食の直前(1時間前くらい)及び夕食の後から寝るまでの間については、おやつの量を決めていないと回答した者が6割を越えていた。(p16、図21)
- ・むし歯の状況は、要治療者では、21時前の早い時間帯に就寝している子どもの割合が最も少なく、おやつの量を決めていないと回答した者は55.7%、ジュース・甘い飲み物の摂取頻度が週3～5日程度又はそれ以上摂取していると回答した者は63.7%と高い傾向が見られた。(p18、図24～26)

第2部 子どもの食事に関すること

- ・子どもの主要な食物の摂取頻度では、果物、大豆・大豆製品、海藻類、芋類、魚介類、肉類において、「週2～3日程度」と回答した者の割合が最も多かった。ジュース・甘い飲み物、揚げ物においては、「週1～2日程度」が最も多く、外食、インスタント食品においては、「月1～2日程度」が最も多かった。間食の状況では、「夕食の直前」、「夕食の後から寝るまで」と答えた者の多くで、おやつの量を決めないで与えているという傾向が見られた。(p20～24、図29～32)
- ・野菜の入手方法では、「自家栽培」や「購入と自家栽培の半々」と回答した者の割合は、震災前の状況に比べ、震災後の減少が見られた。(p23、図34)

第3部 保護者の精神健康度と子どもとの関連に関すること

- ・保護者の精神健康度については、保護者の約3人に1人が精神健康度が低い傾向が見られた。(p29、図50)
- ・子どもの食生活との関連では、精神健康度が低い保護者の子どもでは、「野菜をほとんど食べない」、「外食を週1回以上利用する」、「インスタント食品を週1回以上利用する」、「おやつの量を決めていない」という特徴を持っている傾向が見られた。(p31～32、図51～54)
- ・保護者の気持ちとの関連では、精神健康度が低い保護者では、「食事づくりが苦になる」、「楽しく食事をしていない」、「健康ではない」という傾向が見られた。(p33～34、図55～57)

第4部 保護者の子育てに関すること

- ・子育て家庭に必要な地域サポートでは、「遊び場の提供」が最も多く、「安心できる野菜の直売」、「簡単レシピの紹介」の順で多かった。(p35、図 58)
- ・保護者の食やスポーツに関するイベントの参加状況では、ともに「0回」と答えた者が最も多かった。(p37、図 60～61)

第5部 施設の食育推進に関すること

- ・保健業務（身体測定、歯科検診）の状況では、身体測定では「年12回」と答えた施設が最も多く、歯科検診では「年1回」と答えた施設が最も多かった。(p39、図 62,64)
- ・食育の取組状況では、食育計画を策定している施設は約9割だった。(p41、図 63)
- ・食育や保健に関する会議の開催状況は、約6割の施設で開催している。会議の内容については、「食育の実施に関すること」が最も多い。その他、「子どもたちの肥満傾向ややせ傾向に関すること」と回答した施設も約5割あることから、子どもたちの肥満ややせの課題について施設の意識も高い状況がうかがえた。(p42、図 73)
- ・食に関するお話については、「その他」を除く全ての項目（「食べ物の名前について」「食べ物のはたらきについて」「食事のマナーについて」「食べ物の大切さについて」「行事食・郷土料理について」「食べ物の好き・嫌いについて」「よく噛んで食べることについて」）において6割以上の施設が行っていた。(p43、図 68)
- ・食に関する活動・体験の内容は、野菜作りが約6割と一番多く、次いでお菓子作り、料理教室という結果だった。(p44、図 69)
- ・運動や外遊びの状況では、屋内での運動時間では「1時間以上2時間未満」、屋外での運動時間では「1時間未満」と回答した施設が最も多かった。(p47、図 73)
- ・運動に対する考え方については、「運動の必要性を感じていない」と回答する施設はなかった。また、「もっとさせたいが、できない状況である」と回答した施設は約1割、「今後もっとさせていきたい」と回答した施設が一番多いものの、「現在の状況を継続させたい」と回答した施設も約4割ある状況だった。(p48、図 75)

Ⅲ 調査結果

第1部 子どもの生活習慣や健康状態に関すること

1 生活習慣に関する状況

(1) 起床時刻と就寝時刻

起床時刻については、子どもは6時台が68.0%と最も多く、保護者は、6時前が50.7%と最も多かった。就寝時刻については、子どもは21時台が63.2%と最も多く、保護者は、22時台が39.0%と最も多かった。(図1、2)

また、保護者の就寝時刻別に子どもの就寝時刻の割合を見てみると、保護者の就寝時刻が遅ければ遅いほど、子どもの就寝時刻も遅くなる傾向が見られた。(図3)

図1 子どもと保護者の起床時刻

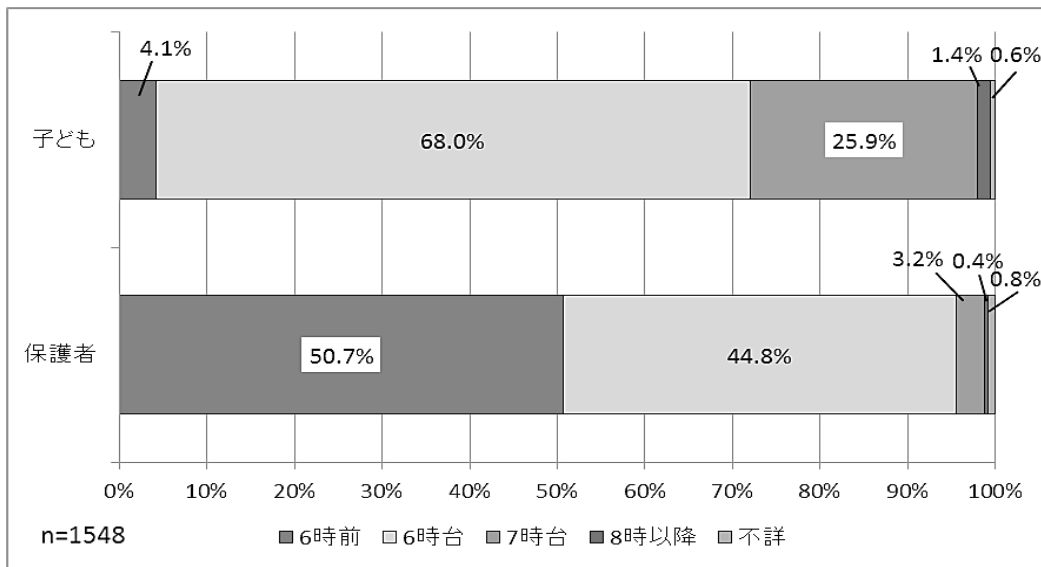


図2 子どもと保護者の就寝時刻

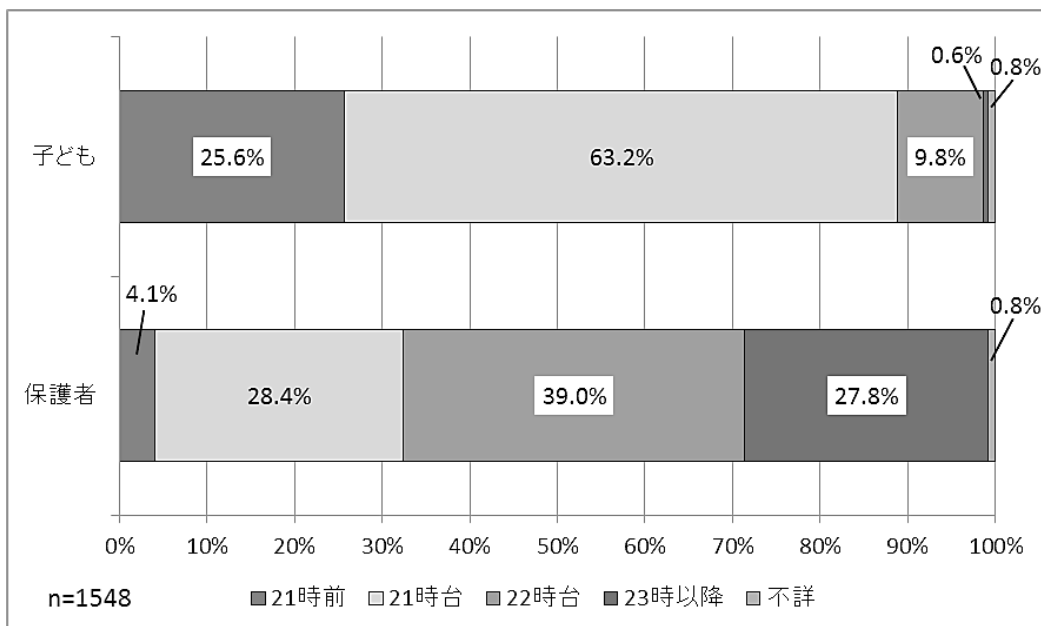
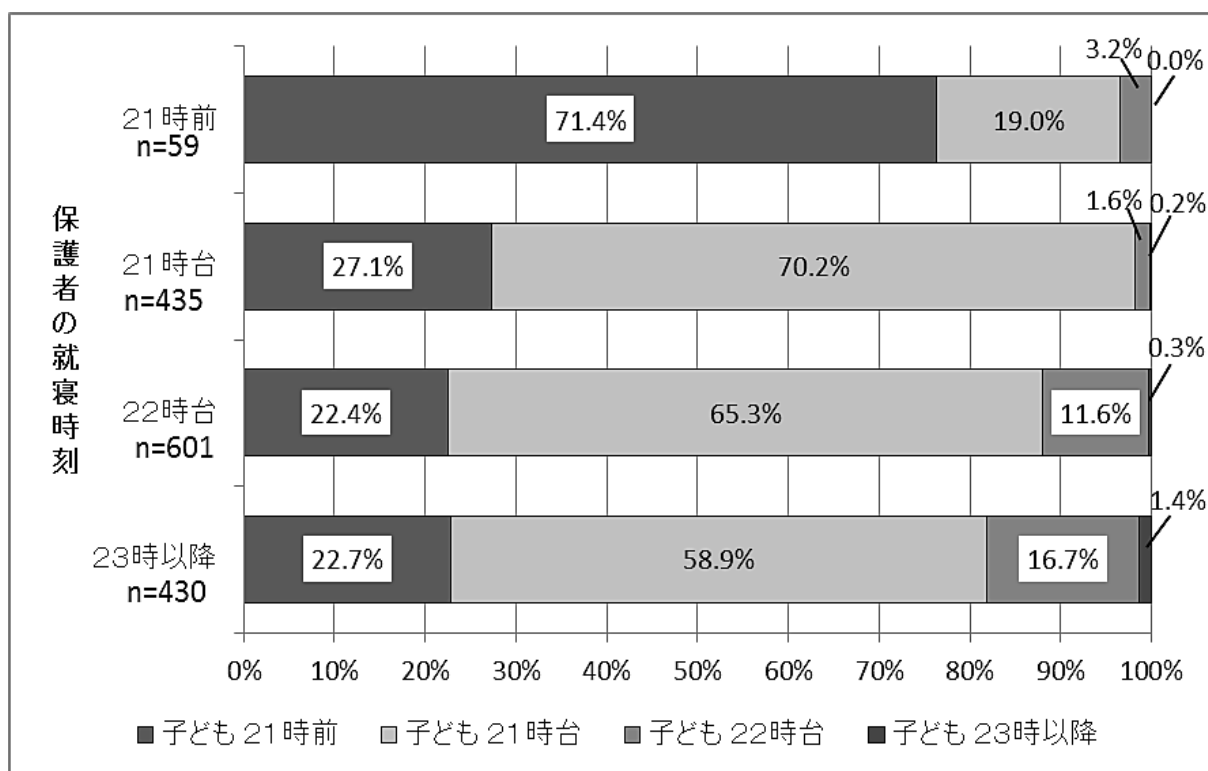


図3 保護者の就寝時刻別 子どもの就寝時刻（不詳を除く）



(2) 朝食の状況

子どもの平日の朝食摂取頻度については、ほぼ毎日食べると答えた者は93.4%であり、第三次福島県食育推進計画の基準値(96.6%)より下回る結果であった。(図4)

朝食を食べ始める時刻は、7時台が57.2%で最も多く、次いで、6時台が37.5%という結果であった。(図5)

また、ほぼ毎日朝食を食べる子どもの起床時刻を見てみると、6時台が69.4%で最も多く、就寝時刻を見てみると、21時台が64.0%で最も多いという結果であった。(図6,7)

図4 子どもの平日の朝食摂取頻度

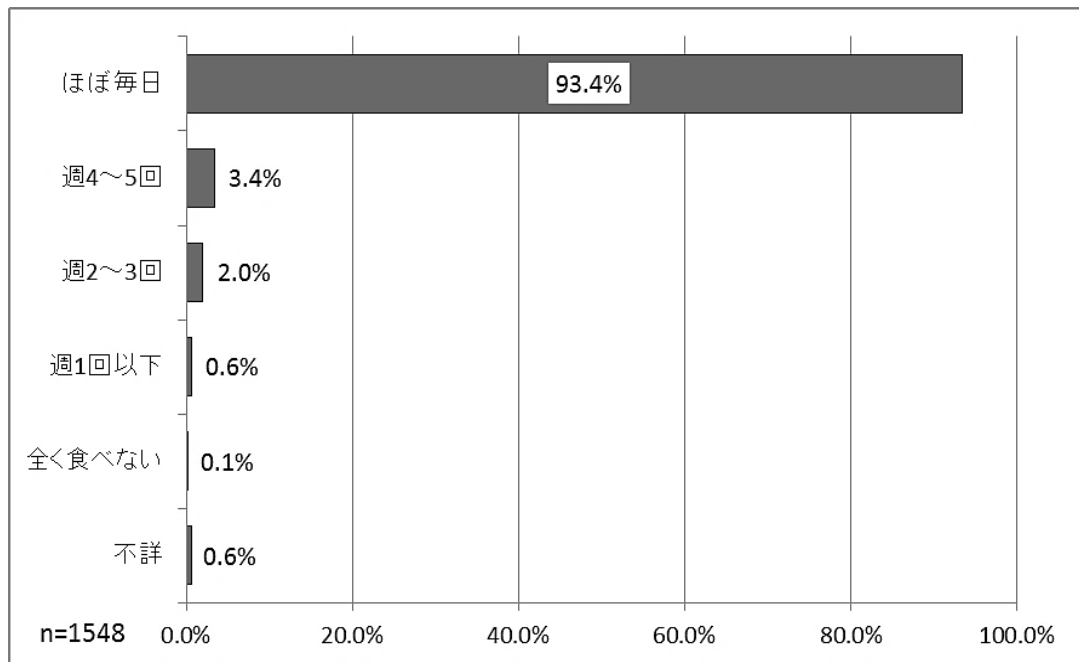
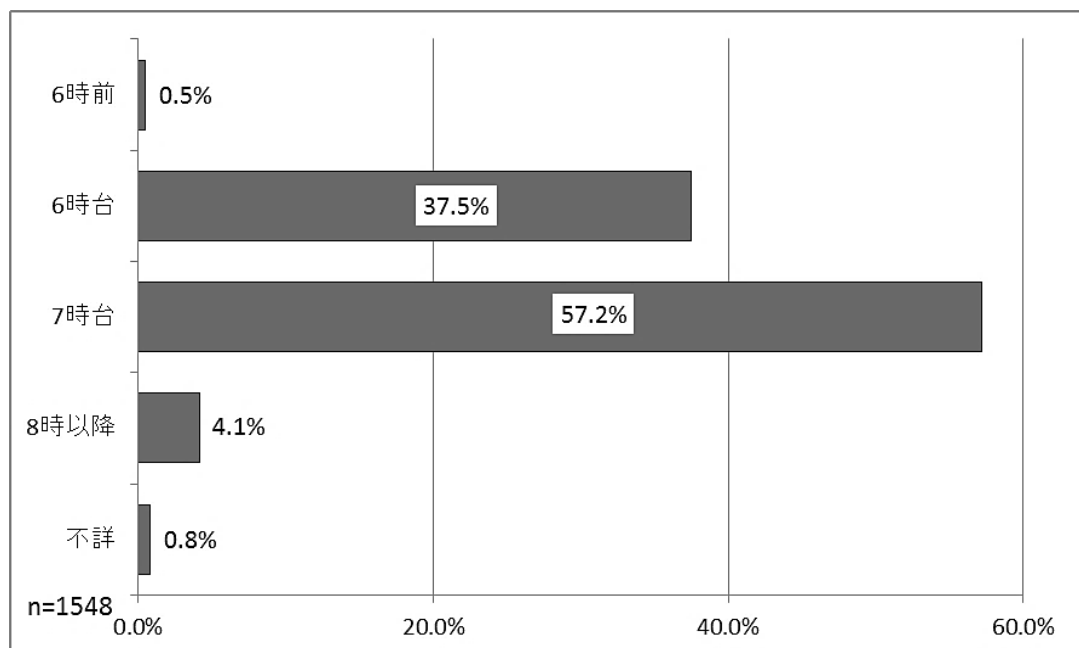


図5 子どもの朝食を食べ始める時刻



<参考> 第三次福島県食育推進計画

指 標	基準値（平成 26 年）	目標値（平成 32 年）
朝食を食べる児童生徒の割合 （公立幼・小・中・高・特別支 援学校）	96.6%*	97.2%

（※ 出典：H26「朝食について見直そう週間運動」における朝食摂取率調査 県健康教育課）

図 6 朝食をほぼ毎日食べる子どもの割合 子どもの起床時刻別（起床時刻の不詳を除く）

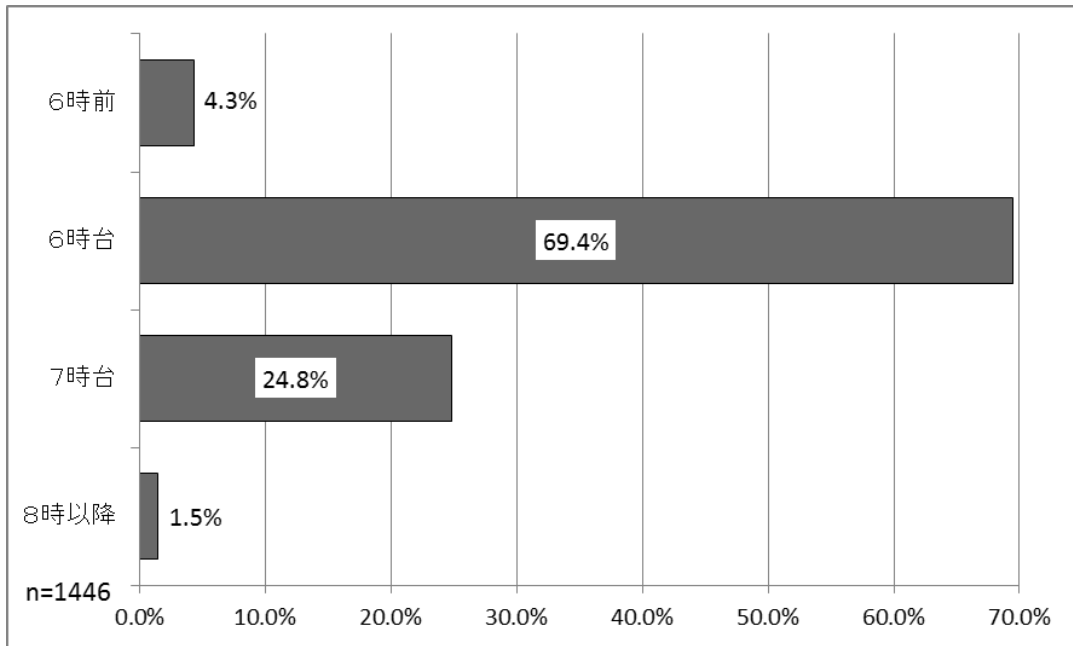
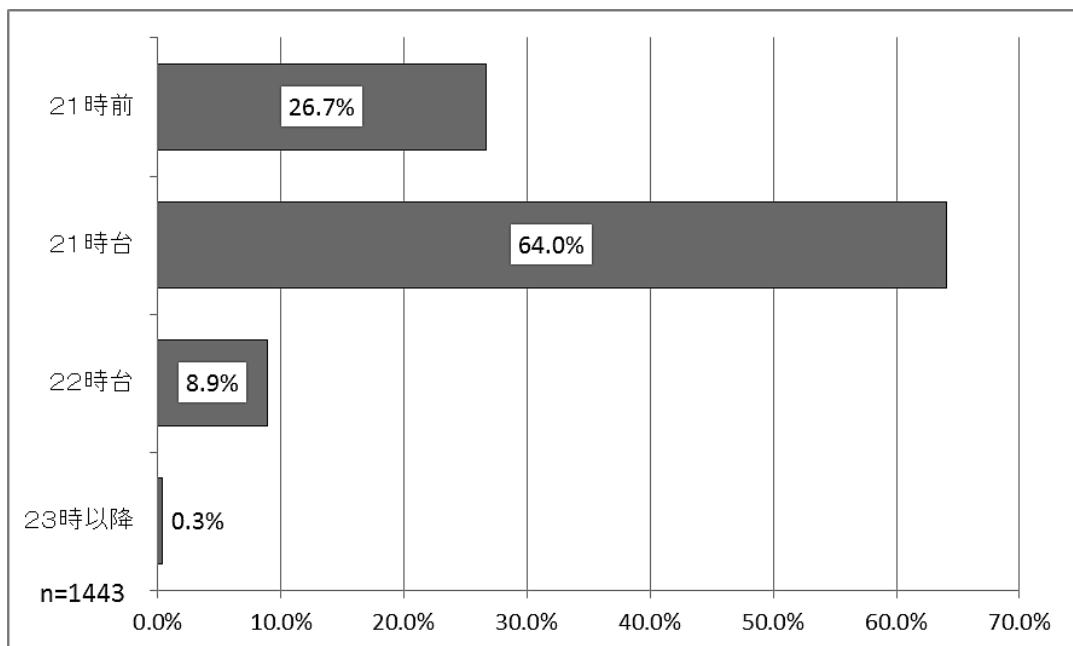


図 7 朝食をほぼ毎日食べる子どもの割合 子どもの就寝時刻別（就寝時刻の不詳を除く）



(3) 夕食の状況

子どもの平日の夕食を食べ始める時刻については、「18時台」で66.7%が最も多かった。(図8)
 子どもの就寝時刻別に平日の夕食を食べ始める時刻を見てみると、就寝時刻が遅ければ遅いほど、夕食を食べ始める時刻も遅い傾向が見られた。(図9)

子どもの共食の状況を見ると、「家族そろって食べる」が53.4%で最も多く、次いで、「大人の家族の誰かと食べる」が45.5%という順であった。両方を合わせると(98.9%)、第三次食育推進計画の基準値(81.6%)より上回る結果であった。(図10)

また、家庭での食事づくり担当者の就労状況別に夕食の内容を見てみると、就労時間が長い状況だと、出来合いや外食を利用する割合が多い傾向が見られた。(図11)

図8 子どもの夕食を食べ始める時刻

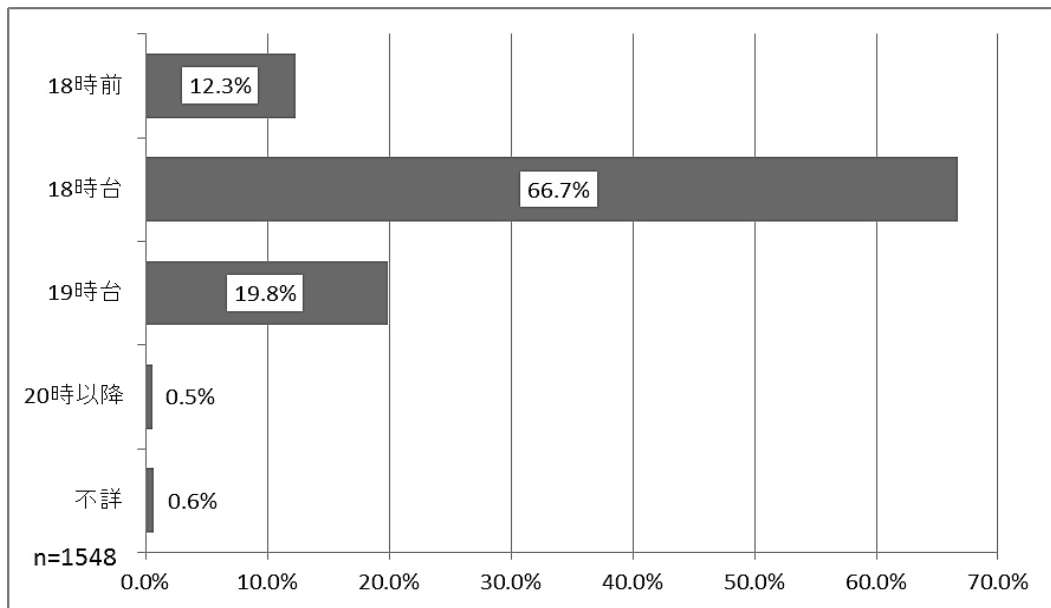


図9 子どもの就寝時刻別 夕食を食べ始める時刻 (就寝時刻の不詳を除く)

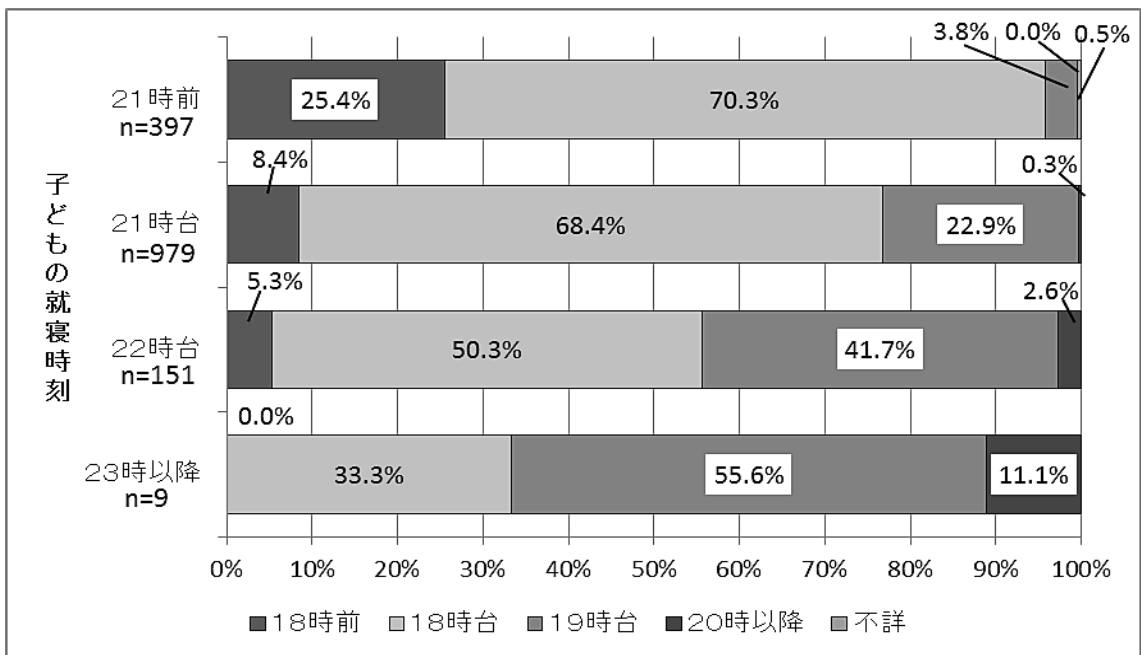
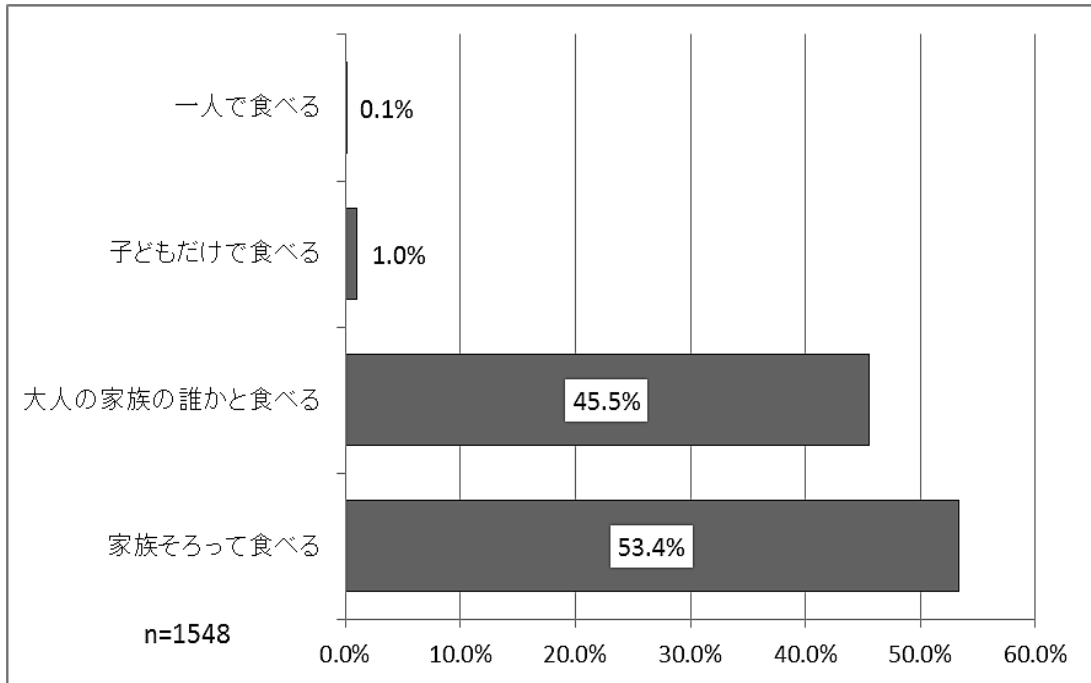


図 10 夕食の共食状況

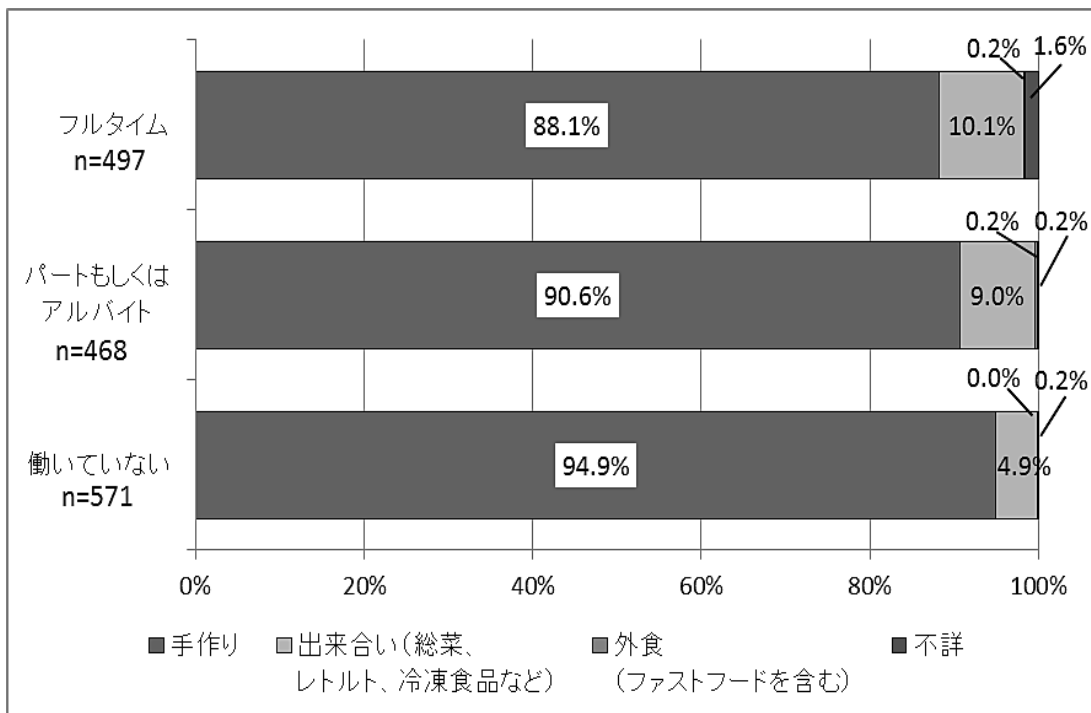


<参考> 第三次福島県食育推進計画

指 標	基準値 (平成 26 年)	目標値 (平成 32 年)
家族との共食の割合	81.6%*	上昇を目指す

(※ 出典：H26 県政世論調査 県健康増進課)

図 11 食事づくり担当者の就労状況別 家庭の夕食で多いもの (就労状況不詳を除く)



(4) 運動習慣

年齢別の子どもの平日の運動頻度については、年齢が上がるにつれて、運動頻度が高い傾向であった。しかし、休日の運動頻度については、年齢別では、あまり差が見られなかった。(図 12)

子どもの平日と休日の運動時間については、どちらも「30分～1時間以内」が最も多く、また、1時間以上運動している割合は、平日で27.8%、休日で52.7%で、平日よりも休日の運動時間のほうが長い傾向であった。(図 13、14)

通園施設別の平日の運動時間については、帰宅時間が早い幼稚園に通園している子どもの運動時間が保育所及びこども園に通園している子どもより運動時間が長い傾向が見られた。(図 15)

また、保護者の子どもに対する運動意欲については、「運動させたい」が70.5%と最も高く、次いで、「どちらかといえば運動させたい」が29.5%であった。(図 16)

図 12 年齢別 子どもの平日の運動頻度

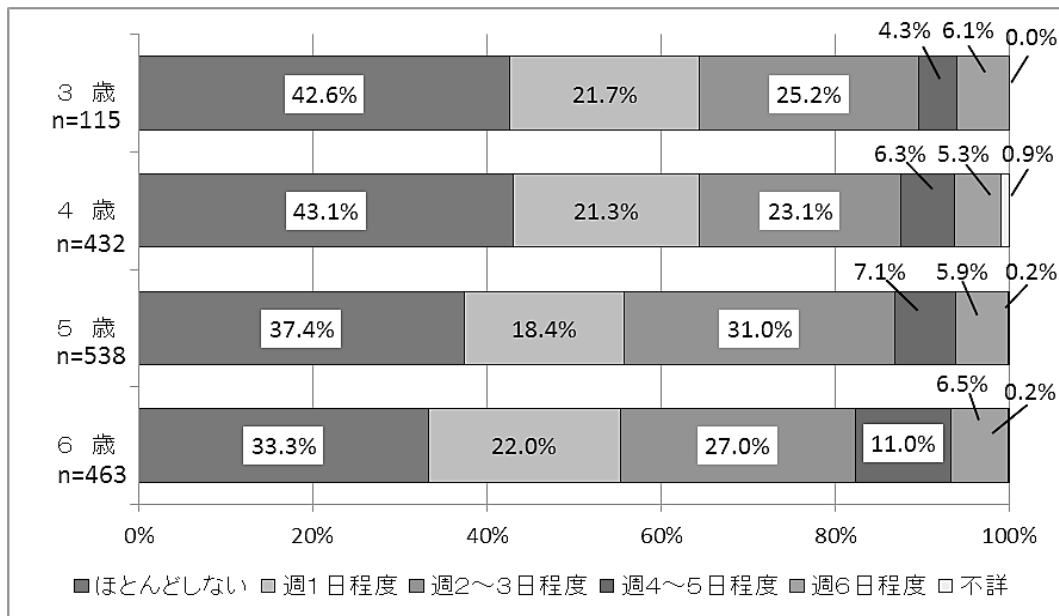


図 13 年齢別 子どもの休日の運動頻度

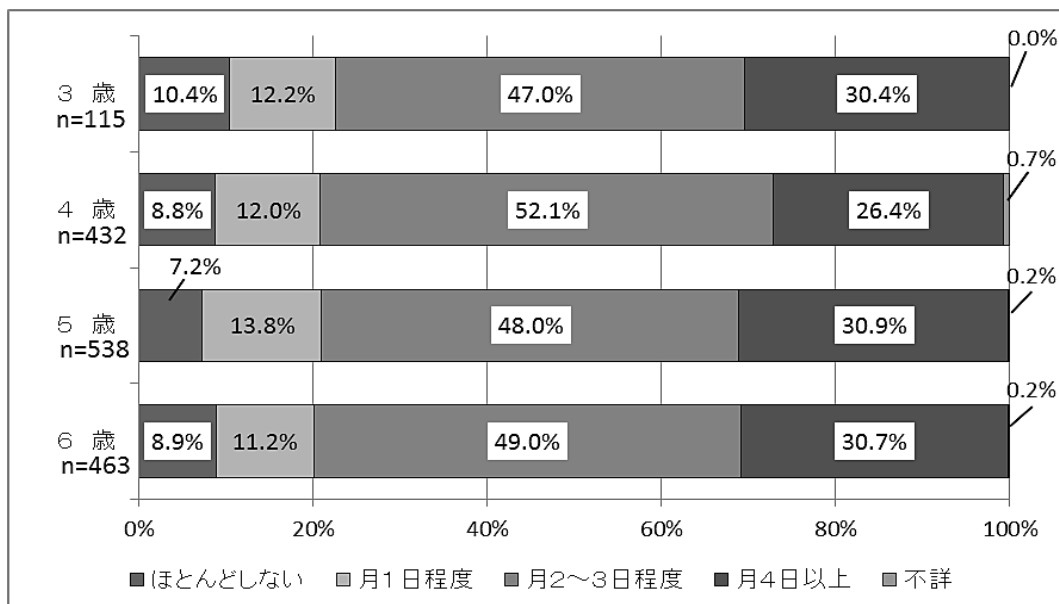


図 14 子どもの平日と休日の運動時間

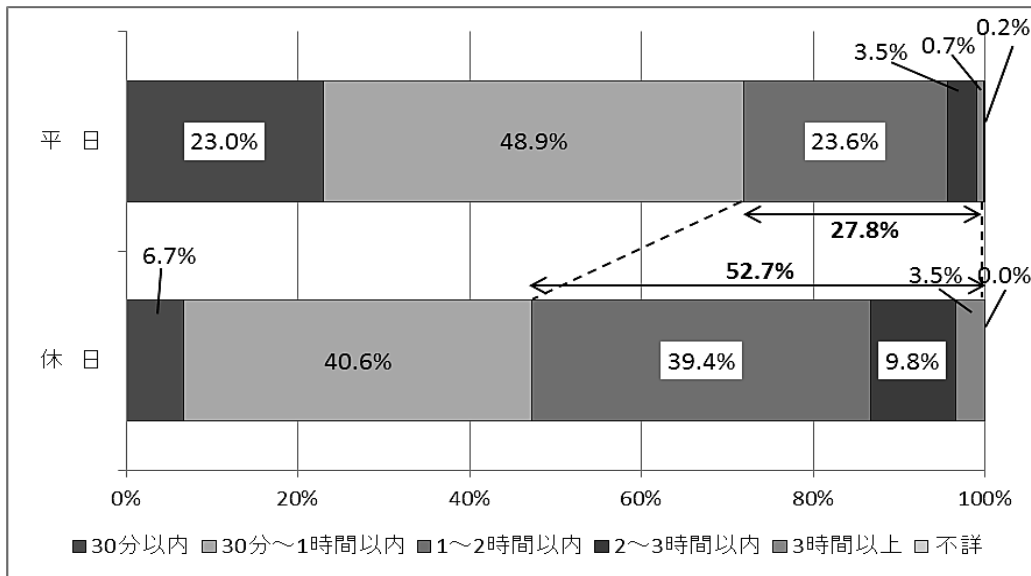


図 15 通園施設別 子どもの平日の運動時間

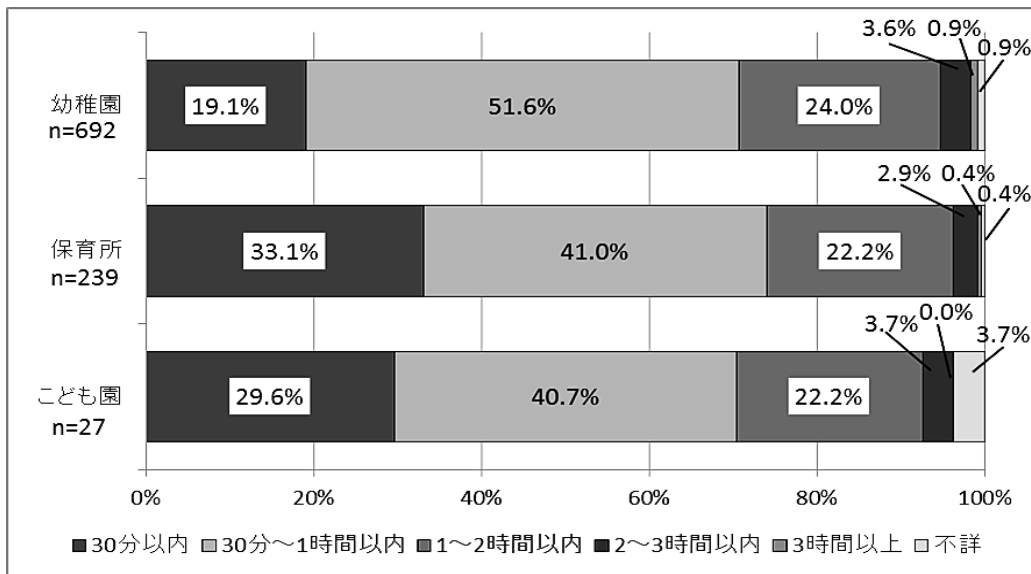
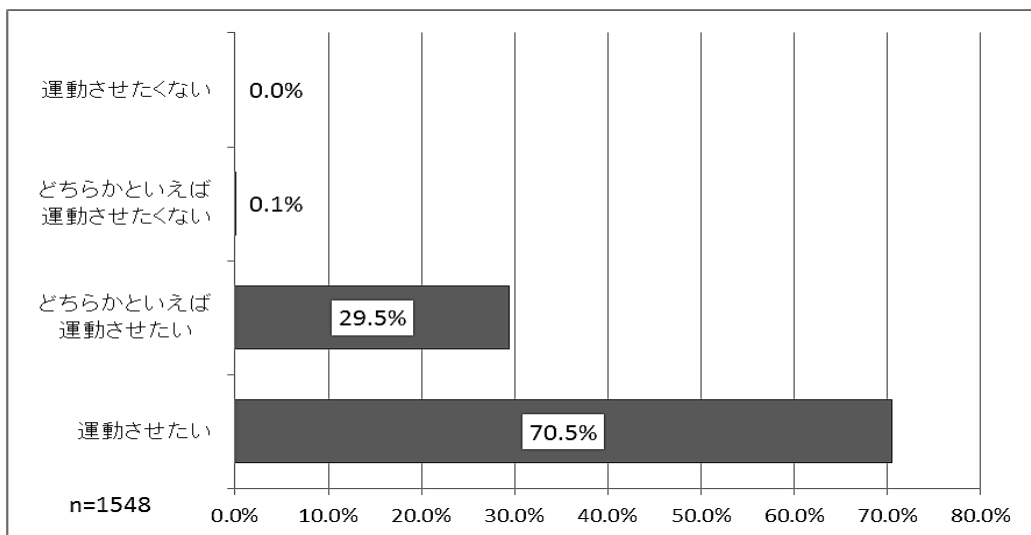


図 16 保護者の子どもに対する運動意欲



2 健康状態に関する状況

(1) 子どもの肥満度の状況

幼児身長体重曲線を用いた評価による肥満度は、ふつう（肥満度-15%超+15%未満）の子どもの割合が85.5%であり、ふつうより肥満度が高い（肥満度+15%以上）子どもの割合が10.2%、ふつうより肥満度が低い（肥満度-15%以下）子どもの割合が4.4%であった。（表1）

厚生労働省で実施した「平成27年度乳幼児栄養調査」の結果では、ふつうより肥満度が高い（肥満度+15%以上）子どもの割合が4.4%、ふつうより肥満度が低い（肥満度-15%以下）子どもの割合が2.9%であり、全国の数値よりも高い傾向にある。

表1 子どもの肥満度

肥満度区分	総数		3歳		4歳		5歳		6歳		
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
総数	1548	100.0%	115	100.0%	432	100.0%	538	100.0%	463	100.0%	
ふとりすぎ	37	2.4%	合計 10.2% (肥満度 +15%以上)	1	0.9%	6	1.4%	13	2.4%	17	3.7%
ややふとりすぎ	57	3.7%		6	5.2%	14	3.2%	19	3.5%	18	3.9%
ふとりぎみ	63	4.1%		8	7.0%	20	4.6%	18	3.3%	17	3.7%
ふつう	1323	85.5%	95	82.6%	377	87.3%	464	86.2%	387	83.6%	
やせ	54	3.5%	合計 4.4% (肥満度 -15%以下)	4	3.5%	10	2.3%	20	3.7%	20	4.3%
やせすぎ	14	0.9%		1	0.9%	5	1.2%	4	0.7%	4	0.9%

<参考>

全国の3~6歳の子どもの肥満度

肥満度区分	総数	
	人数	%
総数	2,038	100.0%
肥満度 +15%以上	90	4.4%
肥満度 +15%未満 -15%より大きい (ふつう)	1,888	92.6%
肥満度 -15%以下	60	2.9%

(出典：平成27年度乳幼児栄養調査結果 厚生労働省)

<参考> 肥満度の算出方法について

自己申告による身長・体重より幼児身長体重曲線（性別・身長別標準体重）による肥満度の評価方法で算出した。

肥満度区分	呼称
+30%以上	ふとりすぎ
+20%以上 +30%未満	ややふとりすぎ
+15%以上 +20%未満	ふとりぎみ
-15%超 +15%未満	ふつう
-20%超 -15%以下	やせ
-20%以下	やせすぎ

○ 肥満度 = $\frac{[\text{実測体重 (kg)} - \text{身長別標準体重 (kg)}]}{\text{身長別標準体重 (kg)}} \times 100\%$

【平成 12 年乳幼児身体発育調査の結果に基づく
身長別標準体重の算出式】

■ 男児

標準体重 = $0.00206 \times \text{身長}^2 - 0.1166 \times \text{身長} + 6.5273$

■ 女児

標準体重 = $0.00249 \times \text{身長}^2 - 0.1858 \times \text{身長} + 9.0360$

(2) 肥満傾向児とやせ傾向児の食習慣の状況

肥満傾向児とやせ傾向児の食習慣について、野菜の摂取状況、ジュース・甘い飲み物の摂取状況、外食の利用状況、インスタント食品の利用状況、おやつの摂取状況をまとめた。

野菜の摂取状況では、肥満傾向児、やせ傾向児ともに、「ほぼ毎食食べる」が最も多かった(57.3%、57.4%)。(図 17)

ジュース・甘い飲み物摂取状況では、肥満傾向児では「週 3～5 日程度」が最も多く(33.8%)、やせ傾向児では「週 1～2 日程度」が最も多かった(36.8%)。(図 18)

外食の利用状況では、肥満傾向児、やせ傾向児ともに、「月 1～2 回程度」が最も多く(82.2%、64.7%)、次いで、「週 1～2 回程度」であった(14.6%、26.5%)。肥満傾向児に限っては、「週 3～5 回程度」が 0.6%であった。(図 19)

インスタント食品の利用状況では、肥満傾向児、やせ傾向児ともに、「月 1～2 回程度」が最も多く(65.6%、63.2%)、次いで、「週 1～2 回程度」であった(22.9%、20.6%)。(図 20)

おやつを与える時間別におやつの量を決めているかについては、おやつの量を決めていないと答えたもので最も多かったのは、肥満傾向児では「夕食の後から寝るまでの間」(63.6%)で、やせ傾向児では「夕食の直前」(83.3%)であった。(図 21)

図 17 肥満傾向児とやせ傾向児の野菜の摂取状況

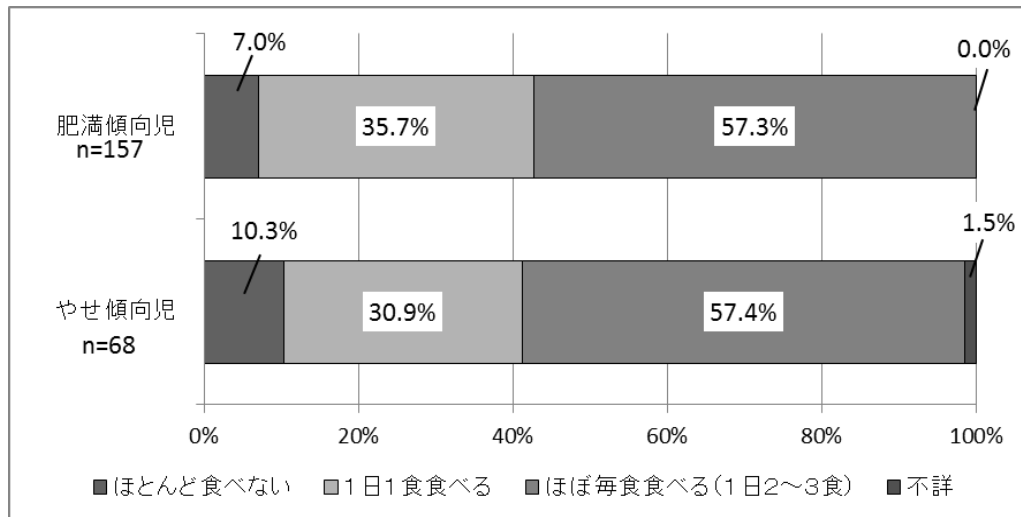


図 18 肥満傾向児とやせ傾向児のジュース・甘い飲み物の摂取状況

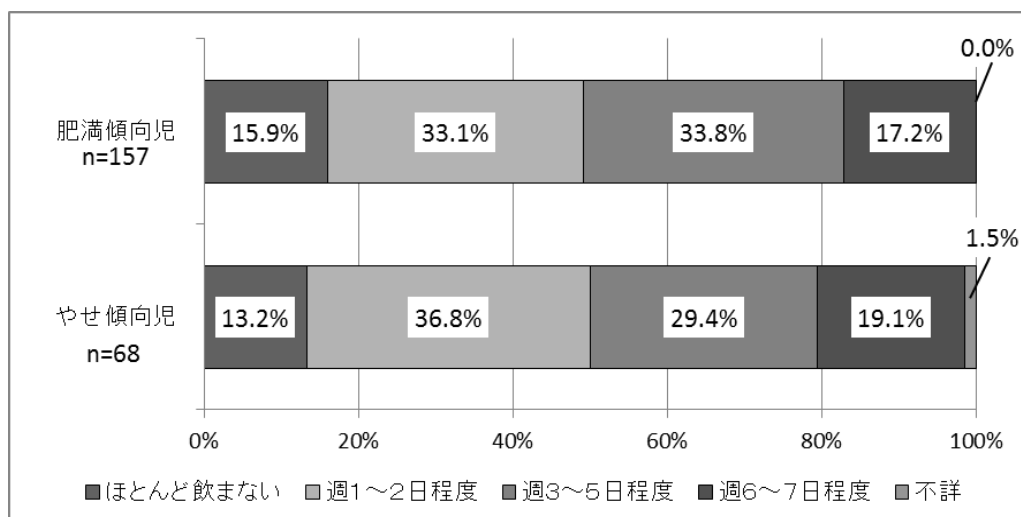


図 19 肥満傾向児とやせ傾向児の外食の利用状況

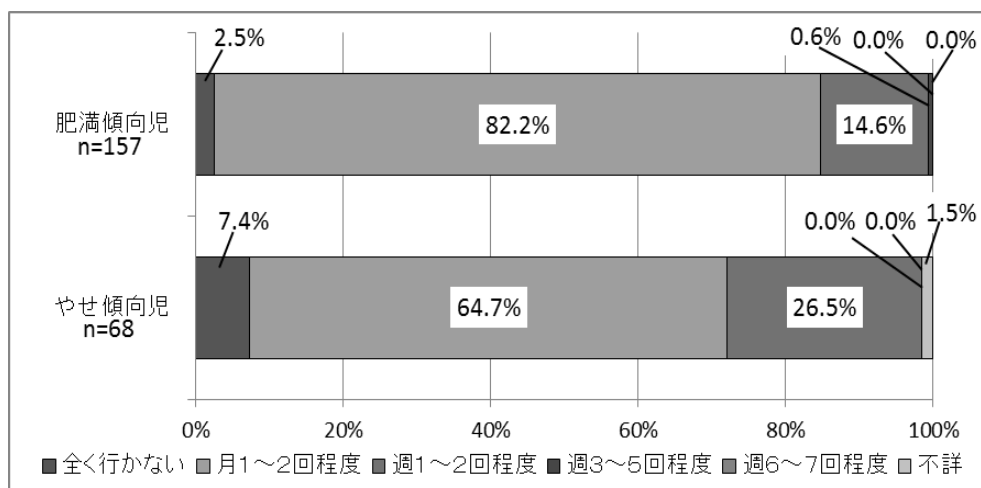


図 20 肥満傾向児とやせ傾向児のインスタント食品の利用状況

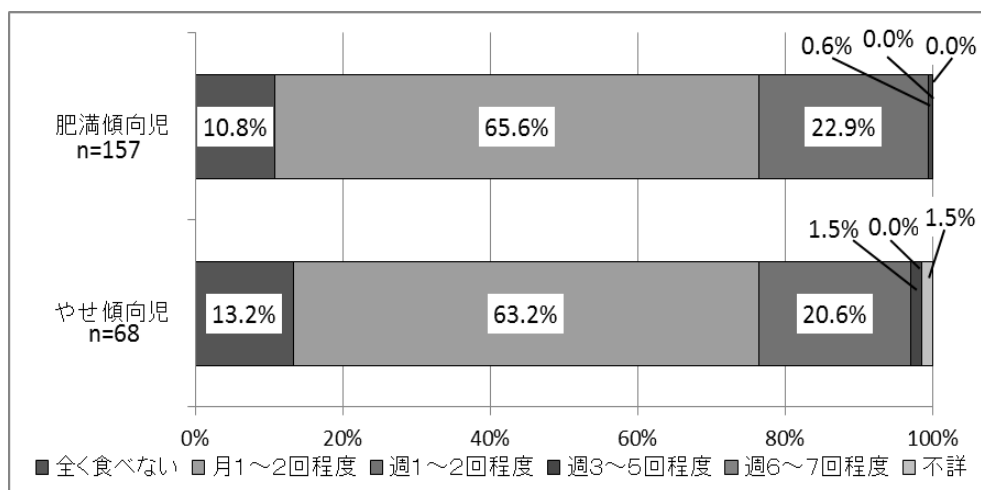
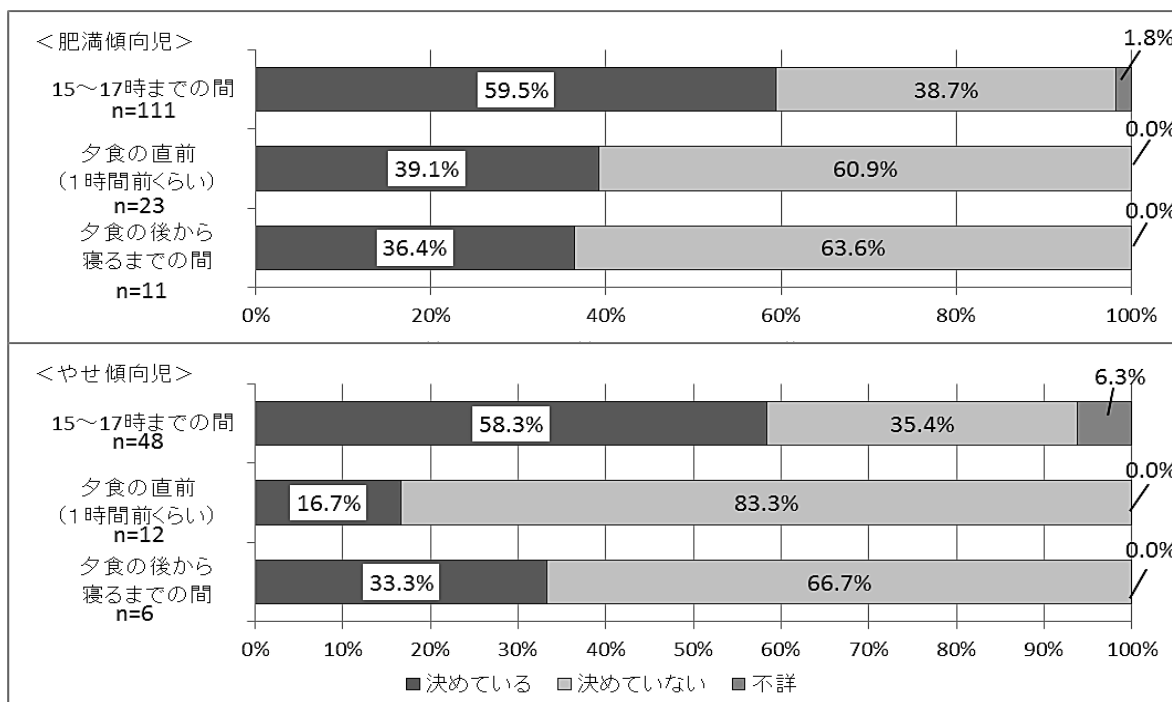


図 21 肥満傾向児とやせ傾向児のおやつとの量を与える時間別 おやつとの量を決めているかについて (不詳及び「家でおやつは食べない」と回答したものを除く)



(3) むし歯の状況

歯科検診の結果では、異常なしが 985 名 (63.6%)、要観察が 89 名 (5.8%)、要治療が 474 名 (30.6%) という結果であり、年齢別に見ると、年齢が上がるにつれて、要治療者が増えている傾向が見られた。要治療者のうち、13.3%の子どもが未治療でいることがわかった。(図 22、23)

また、歯科検診の結果別で、「就寝時刻」、「おやつを決めて与えているか」、「ジュース・甘い飲み物の摂取頻度」を見てみたところ、異常なしと比較し要観察、及び要治療では、22 時以降に就寝している割合やジュース・甘い飲み物の摂取頻度が週 3~5 日程度又はそれ以上摂取していると回答した割合が高い。また、要治療者では、おやつを決めずに与えている割合が異常なしと比較し高かった。(図 24、25、26)

図 22 歯科検診の結果について

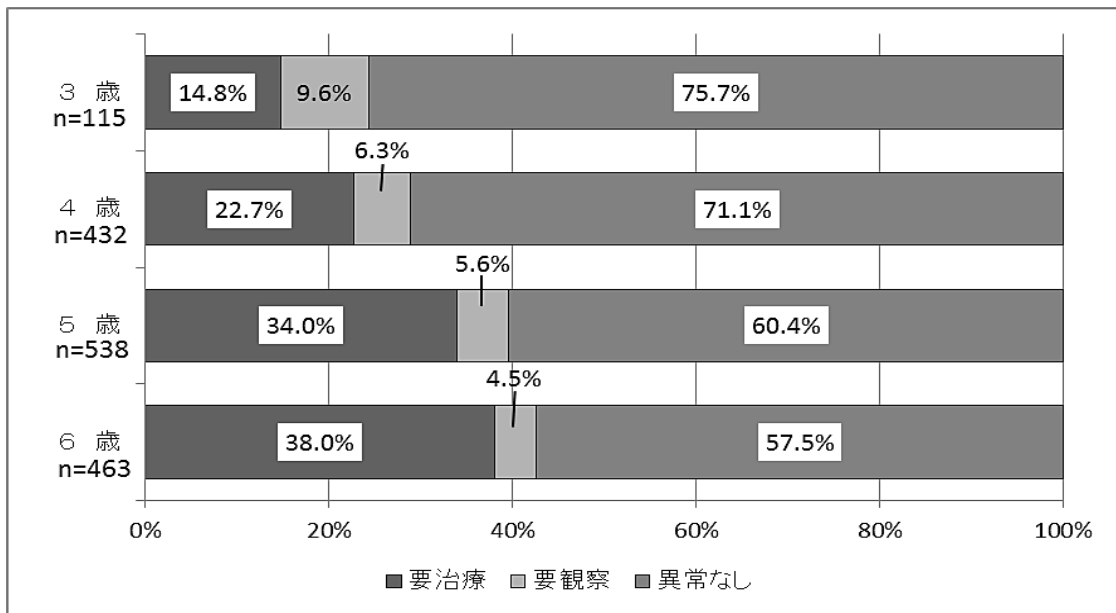


図 23 要治療者の治療状況

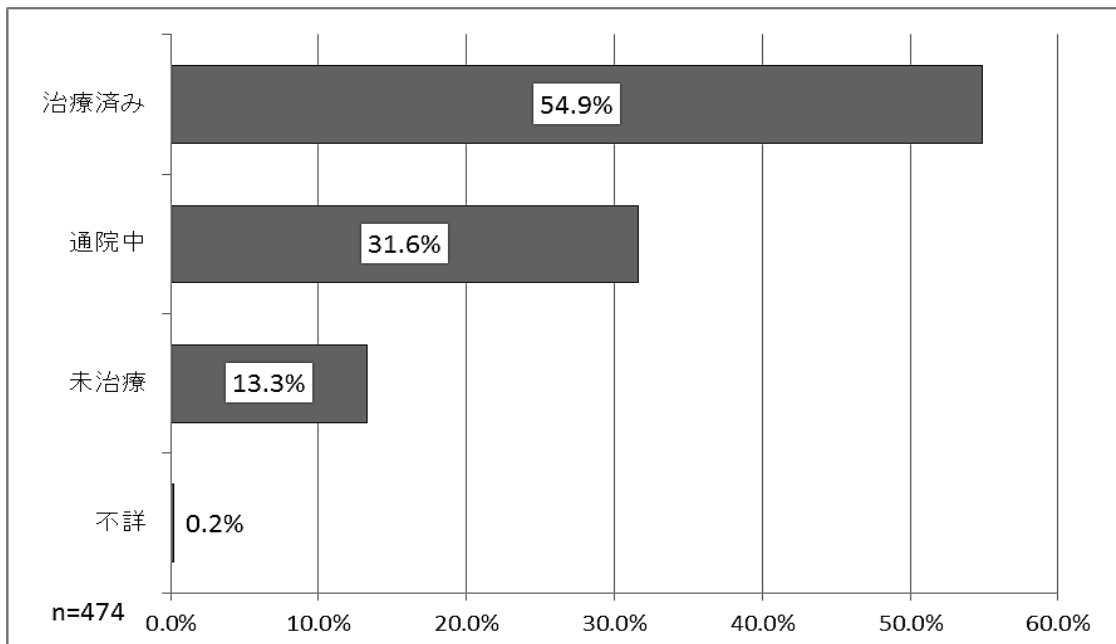


図 24 歯科検診結果別 子どもの就寝時刻

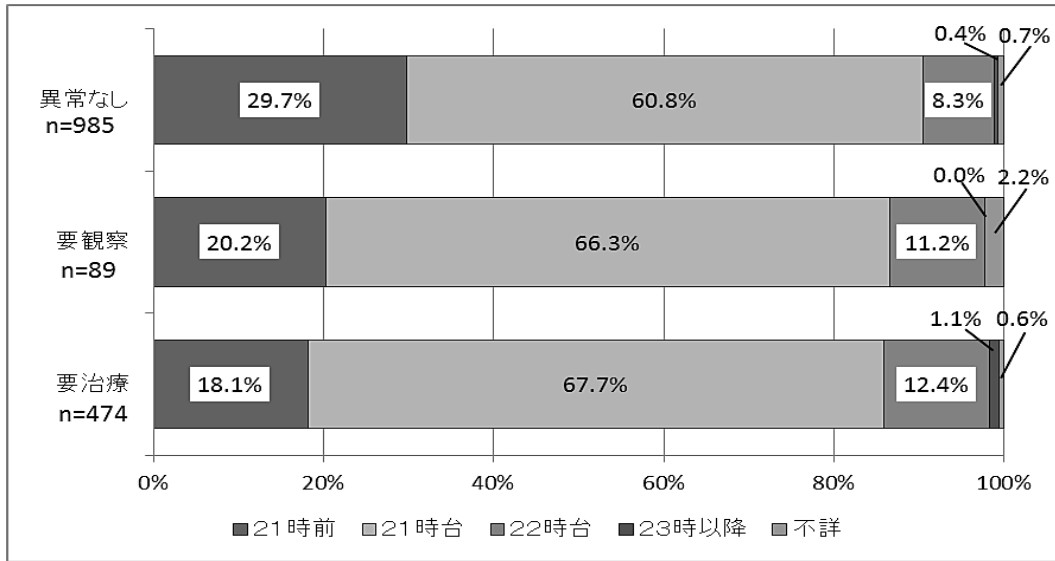


図 25 歯科検診結果別 おやつの量を決めて与えているかについて

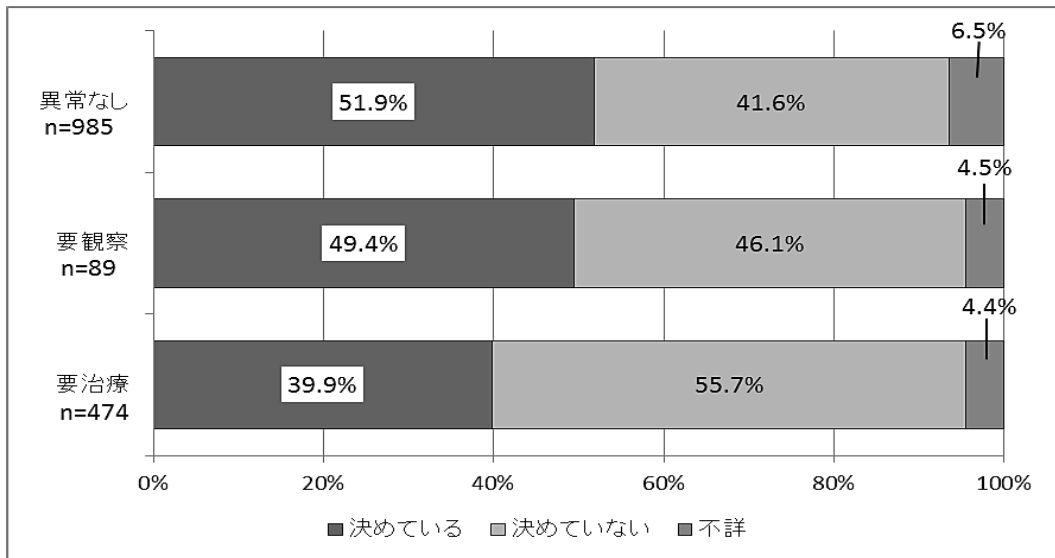
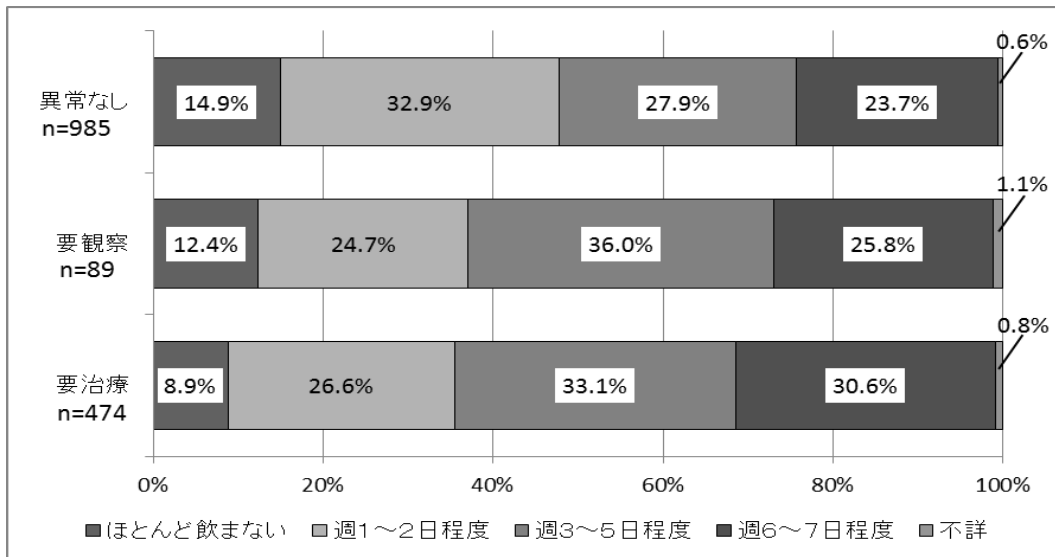


図 26 歯科検診結果別 ジュース・甘い飲み物の摂取頻度状況



第2部 子どもの食事に関すること

1 子どもの食事に関する状況

(1) 子どもの主要な食物の摂取頻度

12種類の食物等（米飯、野菜、果物、大豆・大豆製品、海藻類、芋類、魚介類、肉類、ジュース・甘い飲み物、外食、インスタント食品、揚げ物）について、摂取頻度の質問を行った。

米飯については、「ほぼ毎日」と回答したものが、朝食では58.1%、夕食では80.5%で最も多い回答であった。（図27）

野菜については、「ほぼ毎日食べる」と回答したものが58.8%、「ほとんど食べない」と回答したものが7.2%であった。（図28）

果物、大豆・大豆製品、海藻類、芋類、魚介類、肉類の全てにおいて、「週2～3日程度」と回答したものの割合が最も多く（それぞれ41.9%、47.0%、52.8%、58.2%、62.3%、44.8%）、魚介類と肉類で比較してみると、「週4日以上」と回答したものの割合が、魚介類（19.2%）より肉類（51.6%）の方が高いという結果であった。（図29）

ジュース・甘い飲み物においては、「週1～2日程度（44.8%）」が最も多かった。しかし、「週3日以上」の回答を合計した割合は51.6%であり、「週1～2日程度」と回答したものより多かった。（図30）

外食、インスタント食品においては「月1～2回程度」（それぞれ75.3%、66.0%）、揚げ物においては「週1～2日程度（52.5%）」と回答したものの割合が最も多かった。（図31）

図27 朝食と夕食の米飯摂取状況

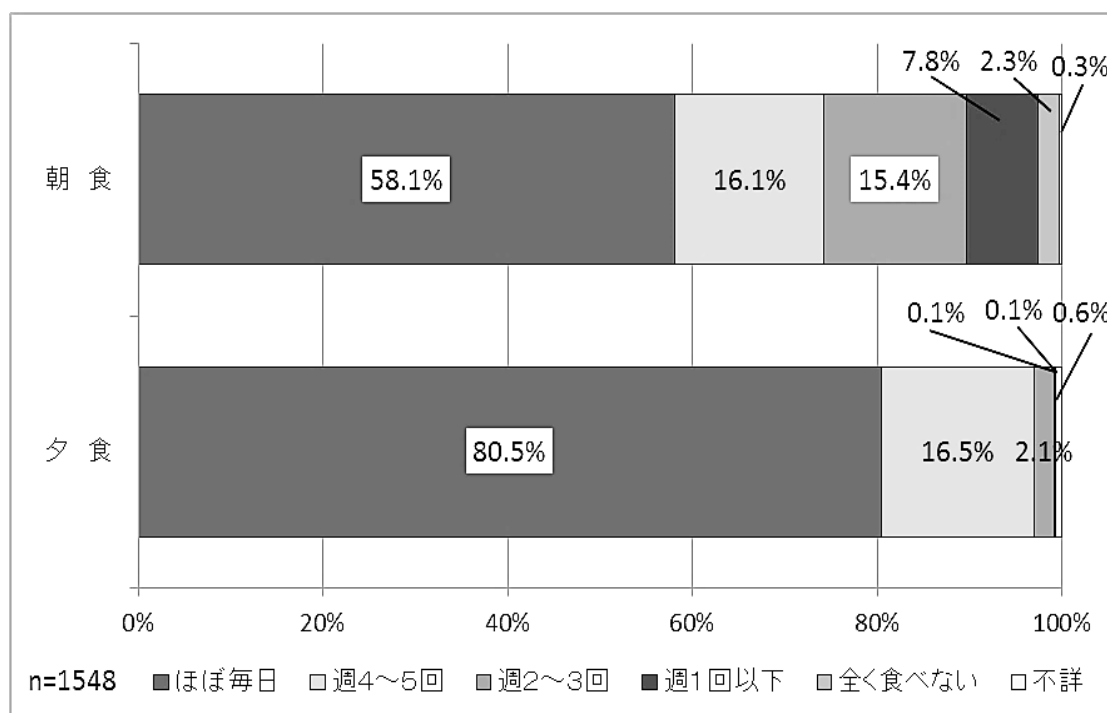


図 28 野菜の摂取状況

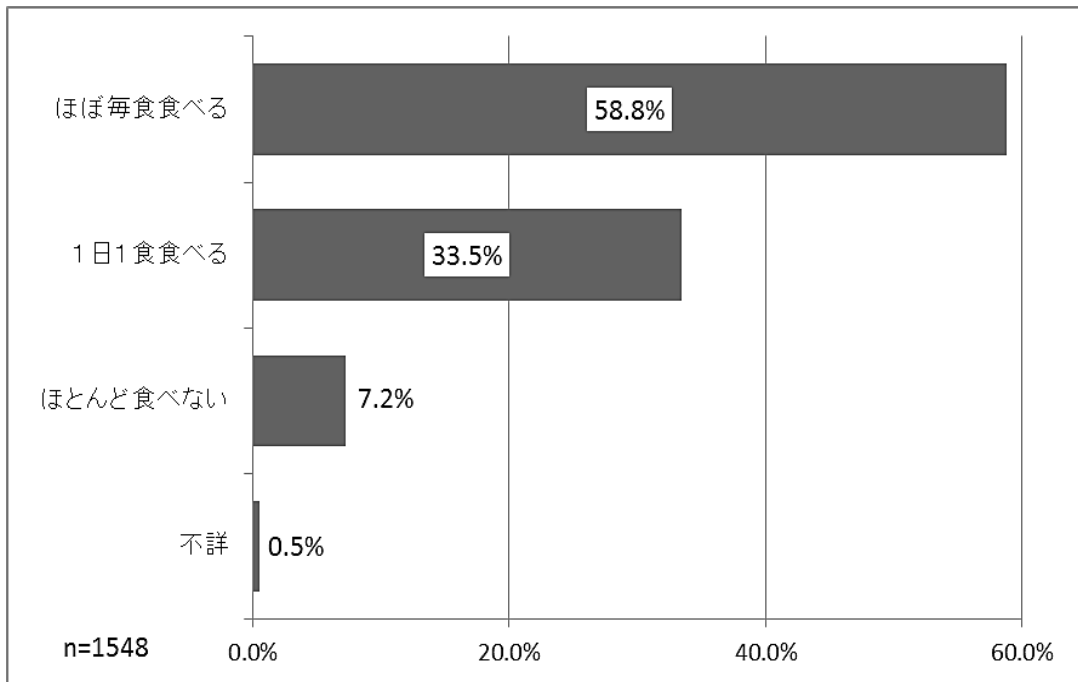


図 29 果物、大豆・大豆製品、海藻類、いも類、魚介類、肉類の摂取頻度

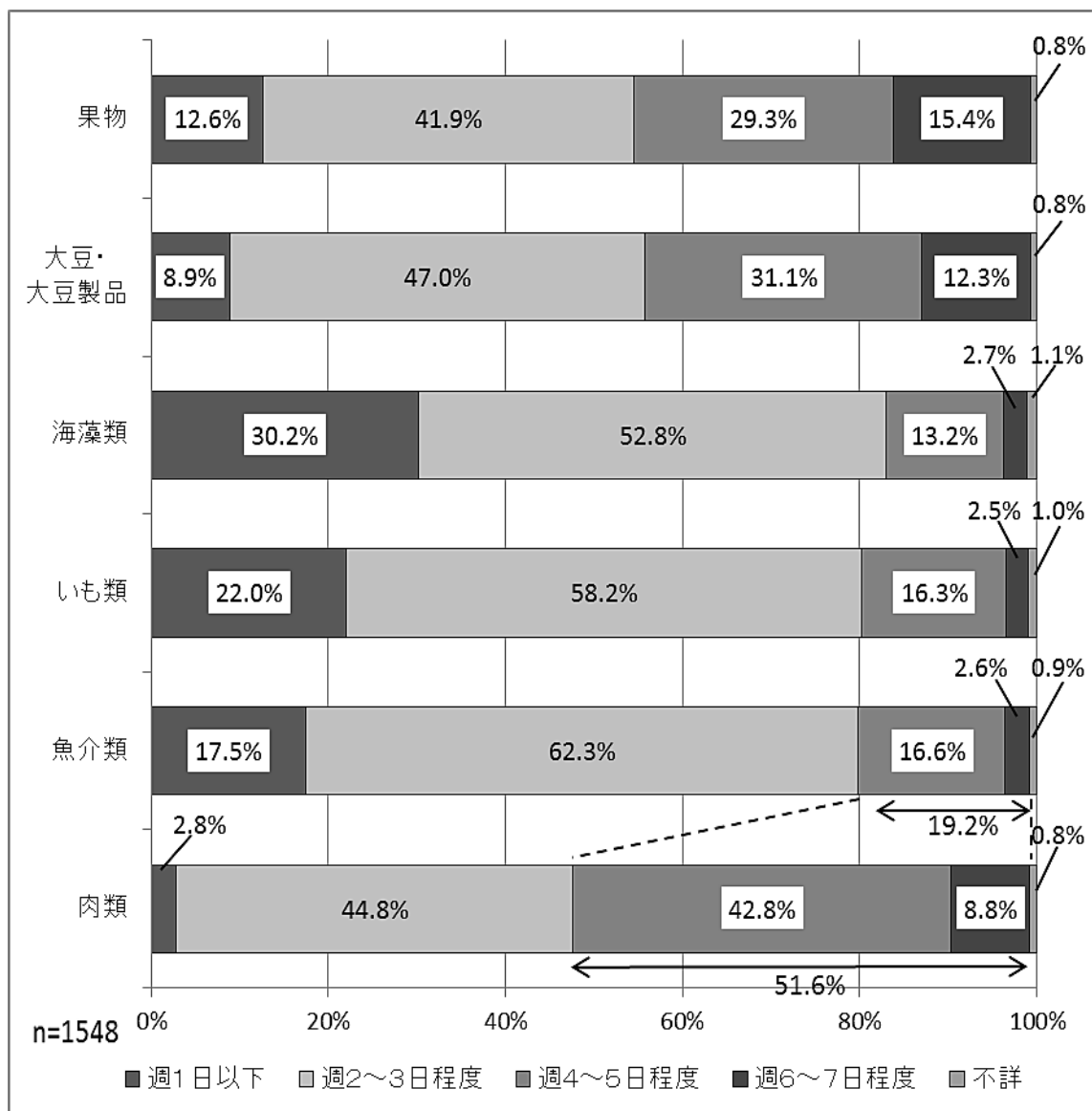


図 30 ジュース・甘い飲み物の摂取頻度

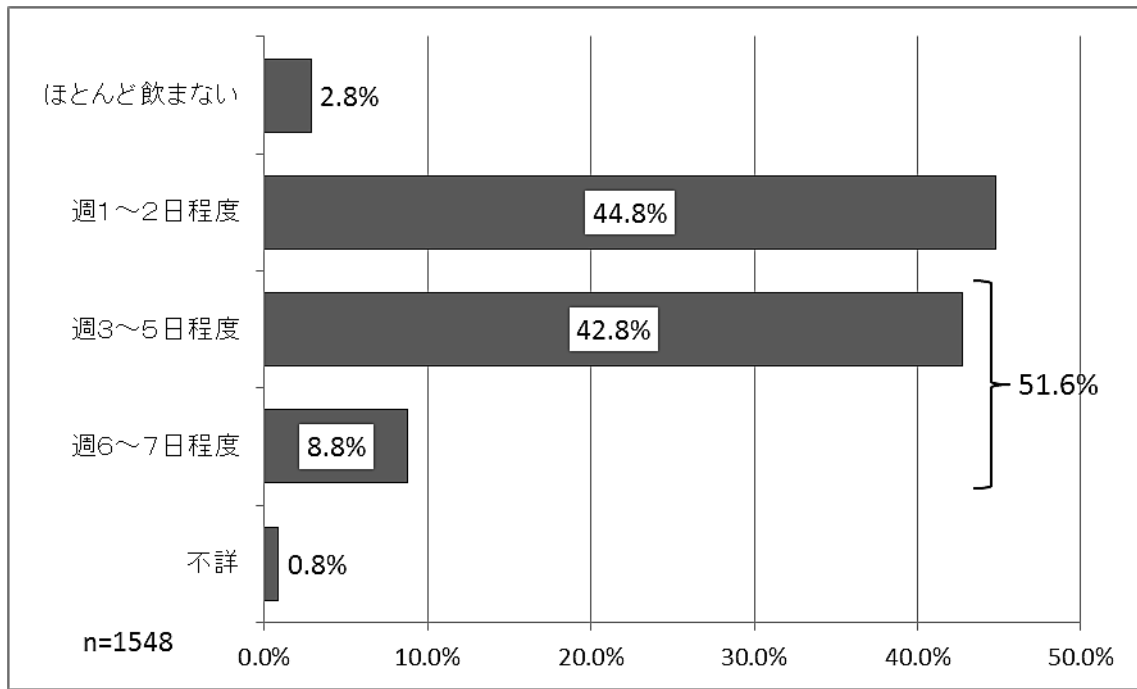
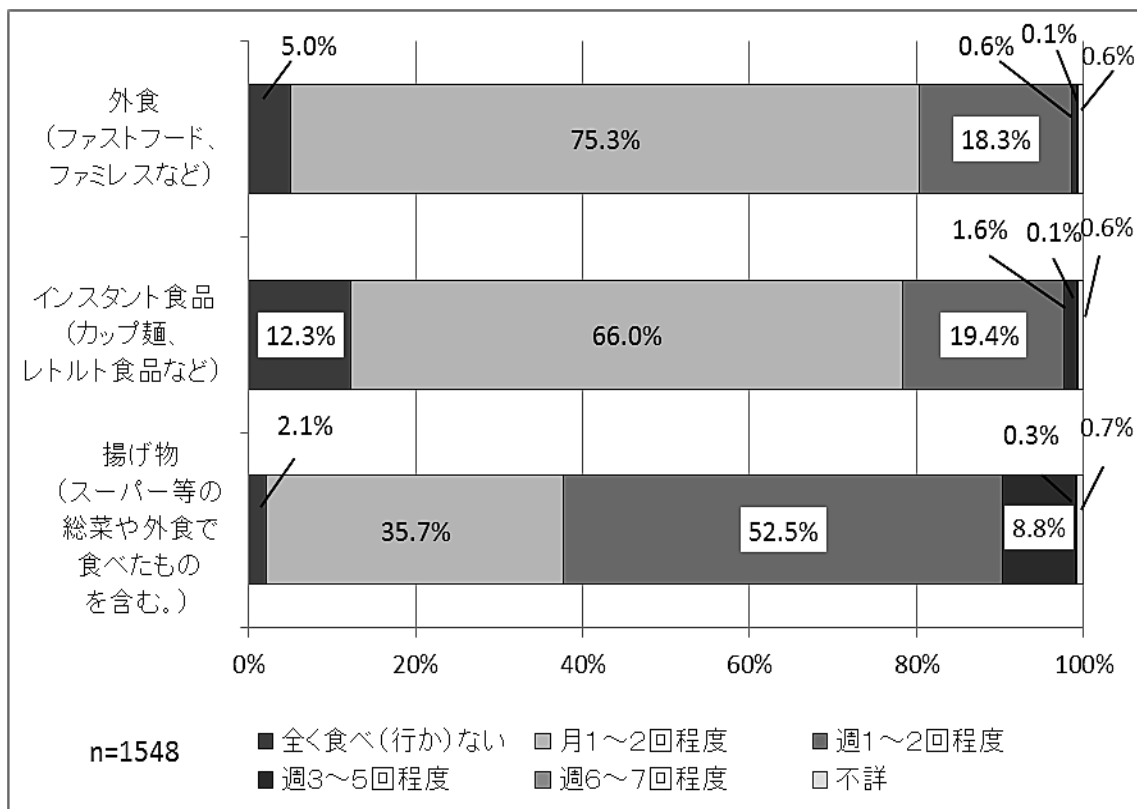


図 31 外食、インスタント食品、揚げ物の摂取頻度



(2) 子どもの間食の状況

子どもの間食の与え方について、与える時間帯では、「15～17時までの間」が最も多く（1117名、77.0%）であった。おやつを与える時間帯別におやつを決めて与えているか見てみると、夕食の直前（59.7%）、夕食の後から寝るまでの間（52.3%）の順でおやつを決めないで与えているという傾向が見られた。（図 32）

また、第1部でも示したとおり、歯科検診の結果別におやつを決めて与えているかを見てみると、要治療者において、おやつを決めて与えていない傾向が見られた。（図 33）

図 32 おやつを与える時間帯別 おやつを決めて与えているか(未回答及び家でおやつは食べないと回答したものを除く)

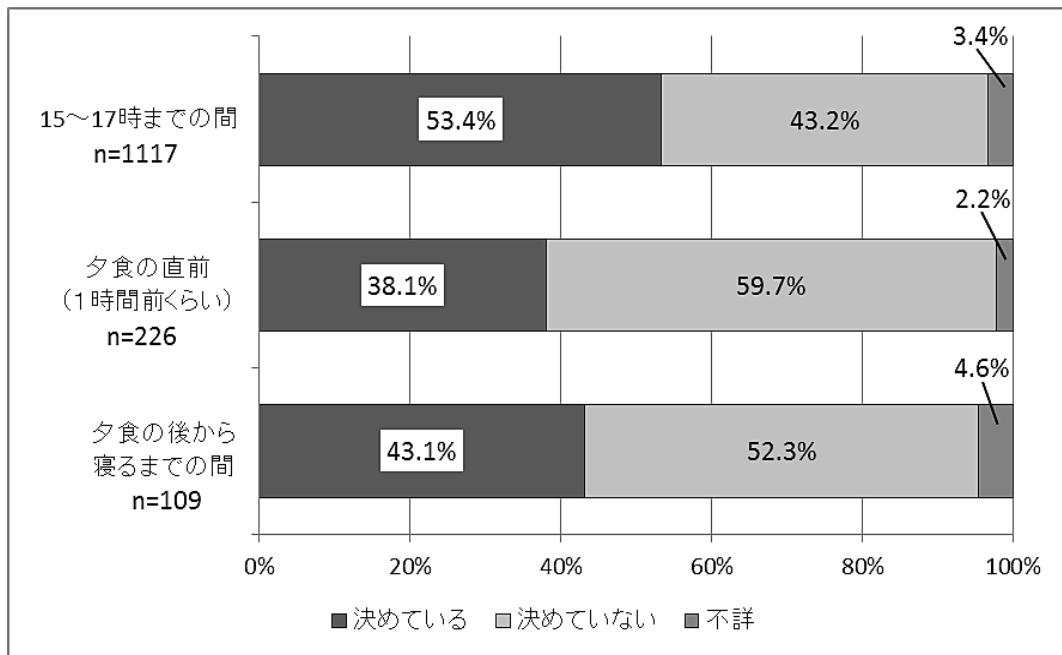
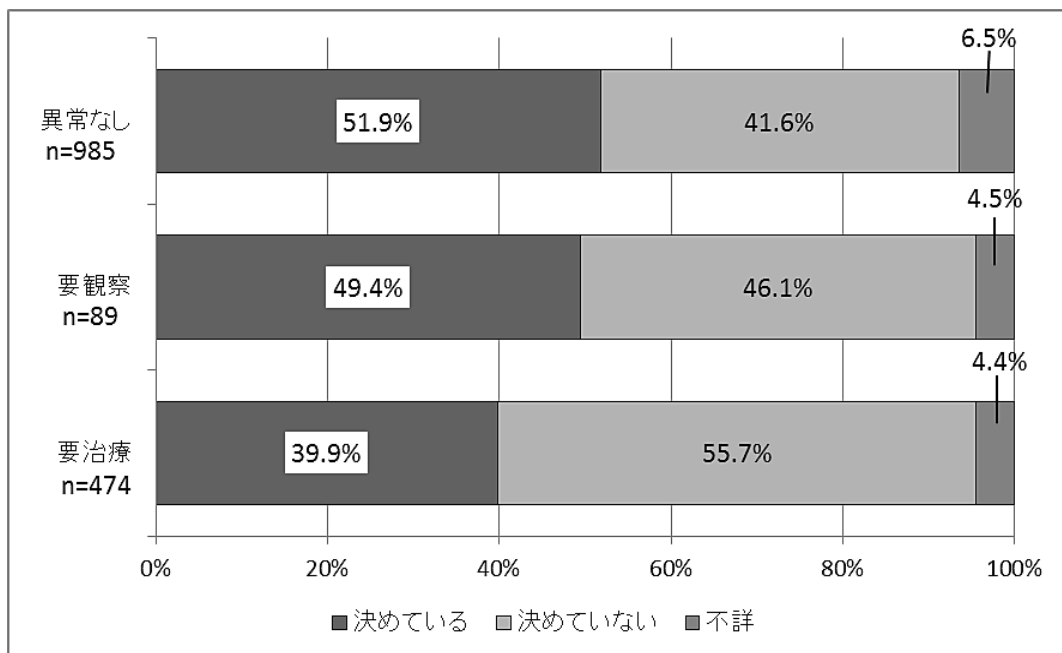


図 33 歯科検診結果別 おやつを決めているか (第1部より再掲)



(3) 野菜の入手方法や食の安全に関する情報収集の状況

野菜の入手方法について、震災前と震災後の状況を比較したところ、震災前は「購入」していたと回答した者は58.5%だったのに対し、震災後は「購入」していると回答した者は82.7%と増加傾向が見られ、「自家栽培」や「購入と自家栽培の半々」と回答した者の割合は、震災前の状況に比べ、震災後で減少傾向が見られた。(図34)

また、保護者の食の安全に関する情報収集の状況については、情報収集を「やっている」と回答した者は3.4%、「どちらかというやっている」が29.4%、「どちらかといえばやっていない」が47.2%、「やっていない」が18.1%という結果であった。(図35)

図34 震災前と震災後の野菜の入手方法

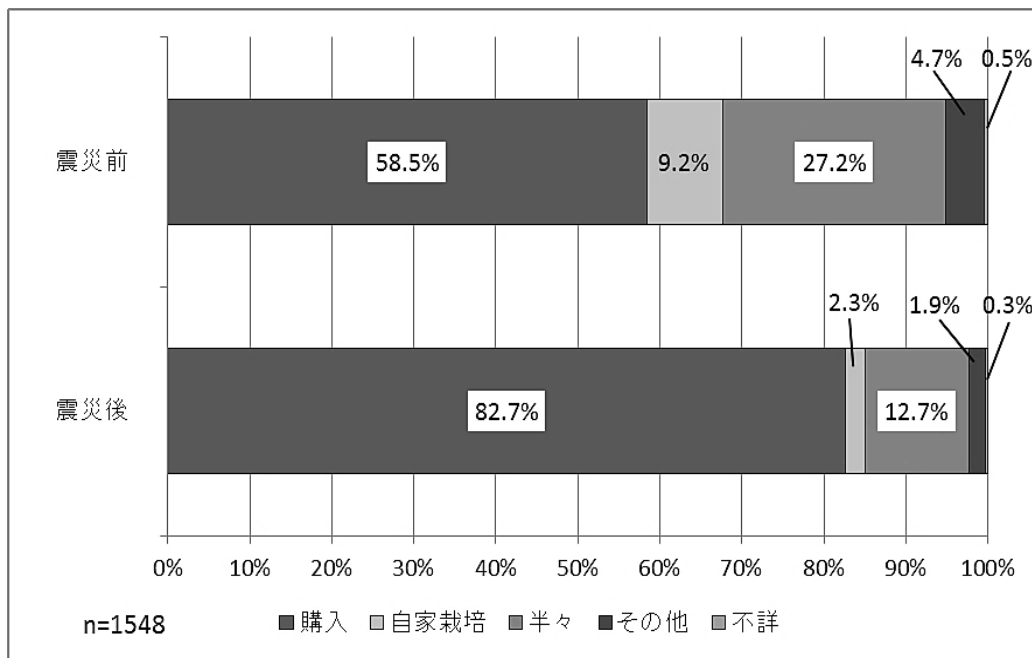
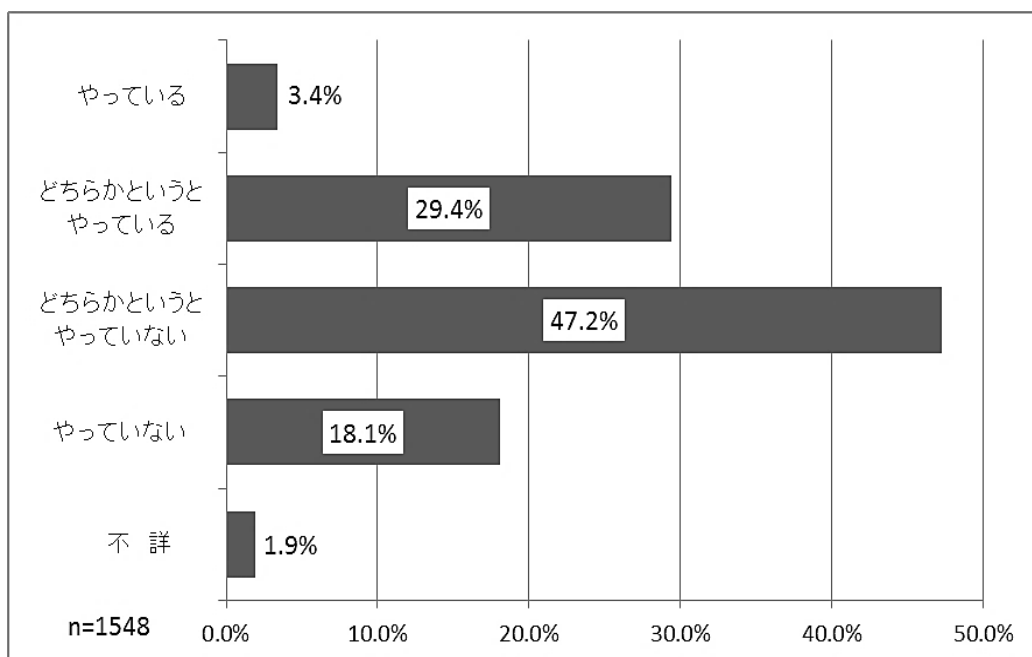


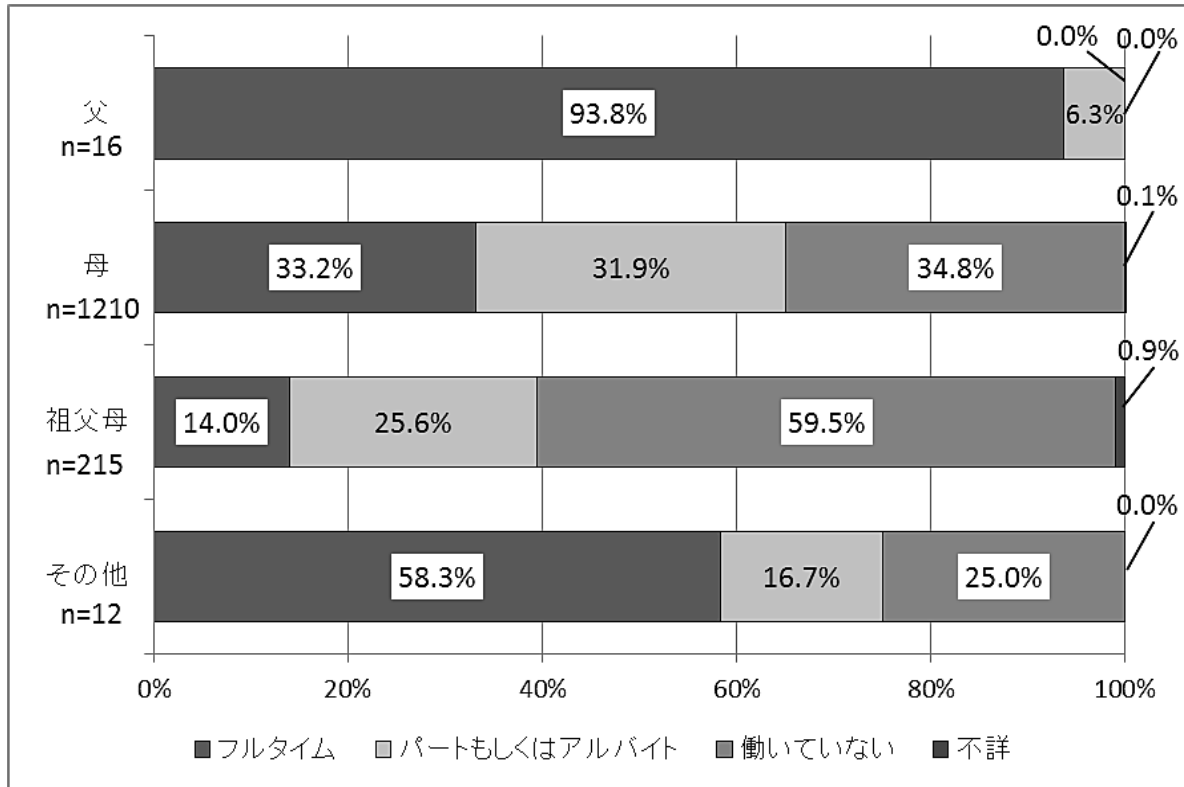
図35 保護者の食の安全に関する情報収集の状況 「情報収集を」



(4) 食事づくり担当者について

食事づくり担当者は、「母」が1210名で最も多く、次いで、「祖父母」が215名という状況であった。就労状況としては、「父」及び「その他」では、「フルタイム」が最も多く（それぞれ93.8%、58.3%）、「母」及び「祖父母」では、「働いていない」が最も多かった（それぞれ34.8%、59.5%）。
 (図36)

図36 食事づくり担当者別 就労状況 (食事づくり担当者不詳を除く)



第3部 保護者の精神健康度と子どもとの関連に関すること

(1) 保護者の精神健康度の状況

保護者の精神健康度の状況を見てみると、リスク低群が71.0%、リスク高群が29.0%という結果であり、保護者の約3人に1人が精神健康度が低い傾向が見られた。(図49)

また、多数が避難していない相馬地区(飯館村を除く)と避難をしている(していた)双葉郡及び飯館村と比較したところ、保護者の精神健康度に差はないように見られた。(図50)

図49 保護者の精神健康度の状況

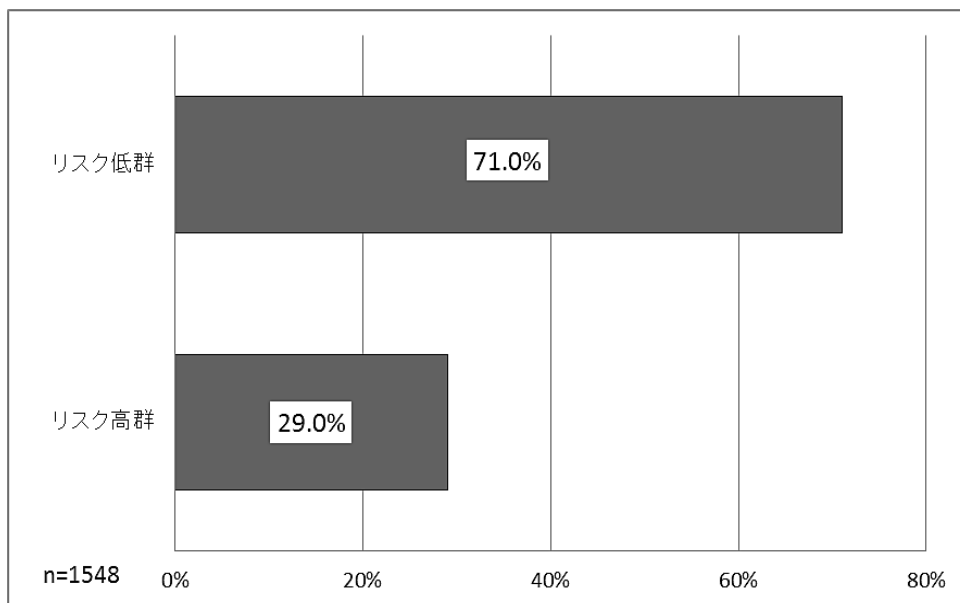
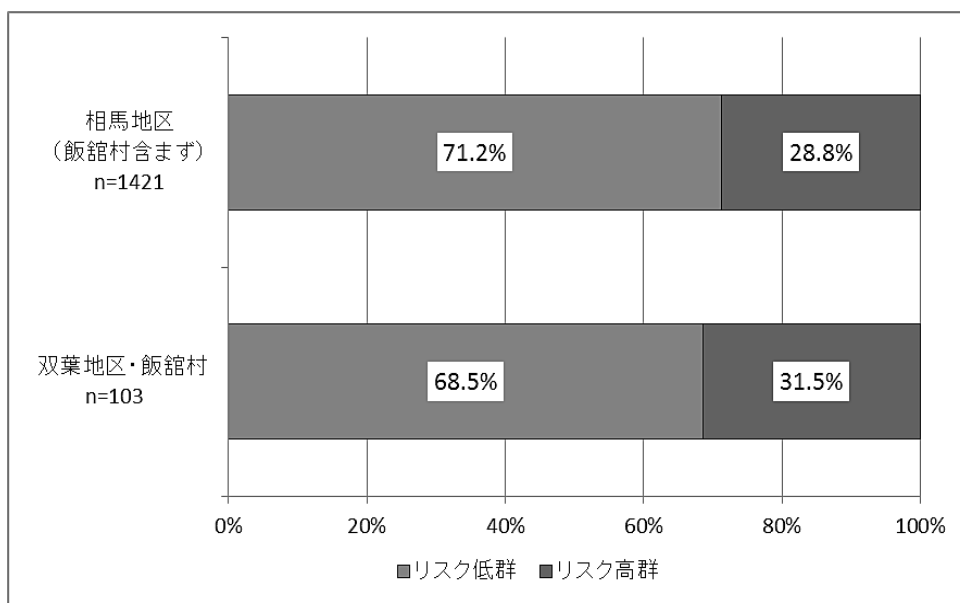


図50 地区別 保護者の精神健康度の割合



※ 全村避難をした飯館村については、双葉地区と合わせて、比較を行った。

(2) 子どもの食習慣との関連について

子どもの食習慣との関連については、野菜の摂取状況において、「ほとんど食べない」と回答した者のうち、リスク低群では6.2%、高群で9.8%であり、3.6%の差があった。(図51) 外食においては、「週1回以上」と回答した者の合計をみると、リスク低群で17.8%、高群で22.2%であり、4.4%の差があった。(図52) インスタント食品においては、「週1回以上」と回答した者の合計をみると、リスク低群で19.4%、高群で27.1%であり、7.7%の差があった。(図53) おやつとの関連においては、「決めていない」と回答した者のうち、リスク低群で42.8%、高群で54.6%であり、11.8%の差があった。(図54)

また、この結果から、 χ^2 検定を行ったところ、「野菜をほとんど食べない」($\chi^2=6.2, p<0.05$)、「外食を週1回以上利用する」($\chi^2=4.2, p<0.05$)、「インスタント食品を週1回以上利用する」($\chi^2=9.9, p<0.01$)、「おやつを決めていない」($\chi^2=19.0, p<0.01$)という特徴を持つ子の保護者では、リスク高群の割合が低群よりも有意に多かった。

図51 子どもの野菜摂取状況との関連

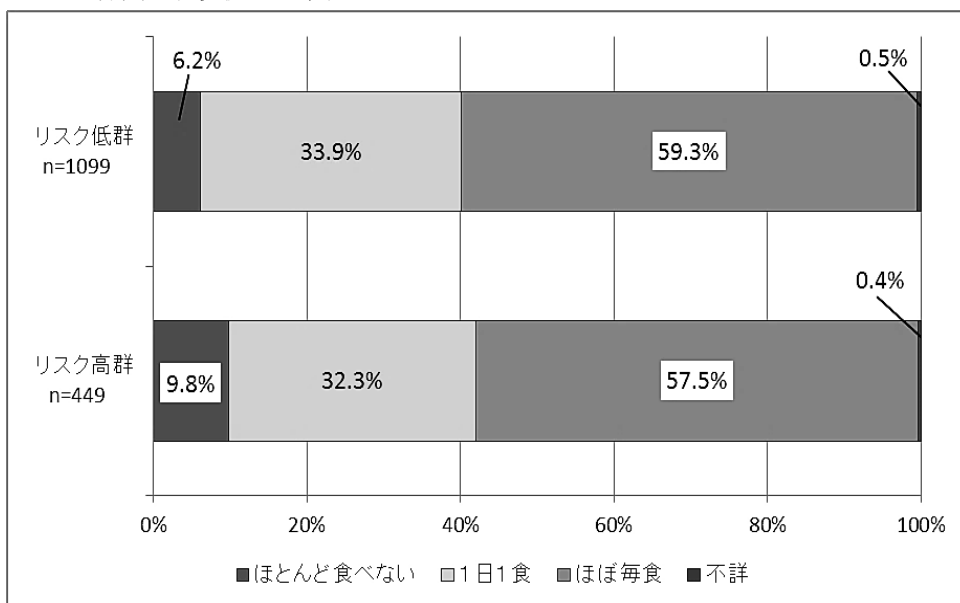


図52 子どもの外食の頻度との関連

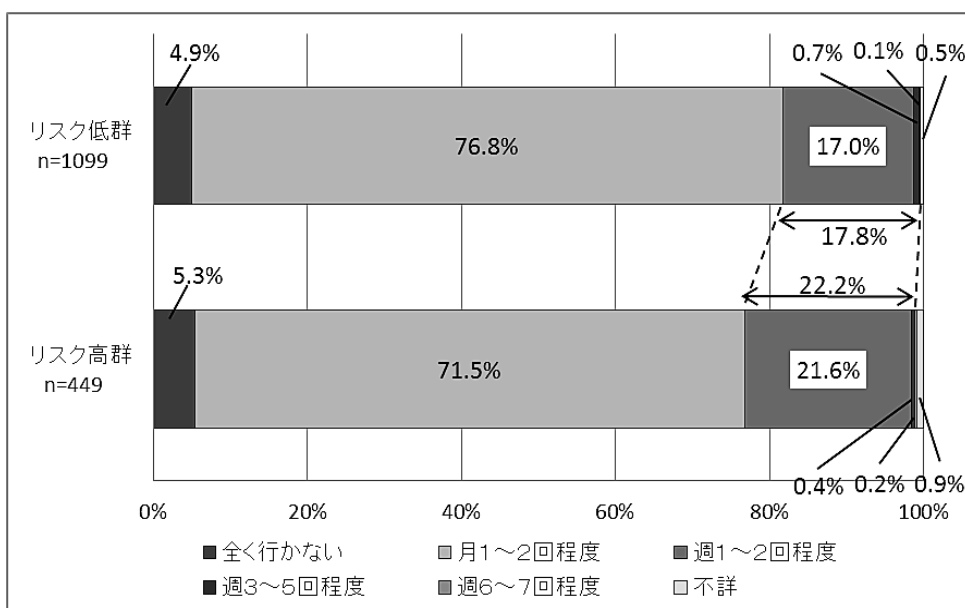


図 53 子どものインスタント食品の頻度との関連

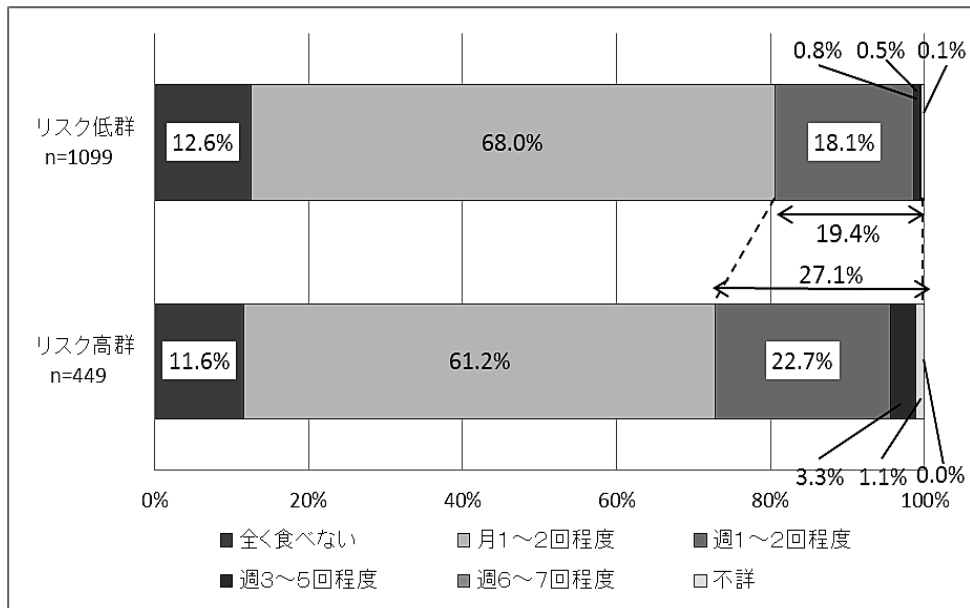
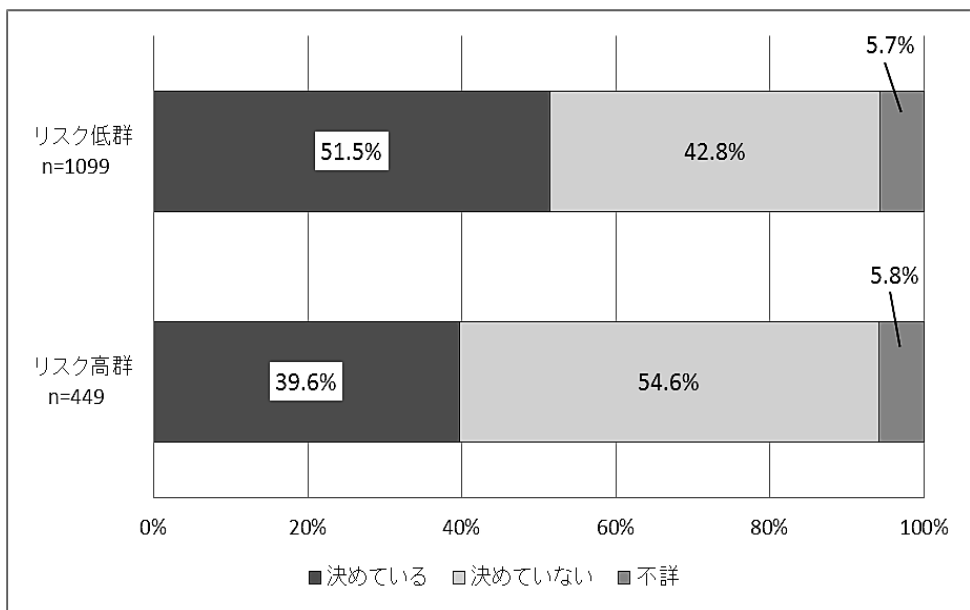


図 54 子どものおやつとの関連



(3) 保護者の気持ちとの関連

保護者の気持ちとの関連については、食事づくりが「どちらかと言えば苦になる」、「苦になる」と回答した者の合計をみると、リスク低群で37.2%、高群で58.1%であり、20.9%の差があった。(図55) 保護者が楽しく食事を「どちらかと言えばしていない」、「していない」と回答した者の合計をみると、リスク低群で7.2%、高群で26.5%であり、19.3%の差があった。(図56) 保護者自身が「どちらかと言えば健康ではない」、「健康ではない」と回答した者の合計をみると、リスク低群で9.7%、高群で36.5%であり、26.8%の差があった。(図57)

また、この結果から t 検定を行ったところ、保護者の食事づくりが「苦になる (1 点) ~ 苦にならない (4 点)」の 4 段階スコアとし、リスク低群と高群の食事づくりスコアの平均値は、2.4 対 2.8 と有意差があった ($t=7.9, p<0.05$)。保護者が楽しく食事を「していない (1 点) ~ している (4 点)」も同様に両群のスコアの平均値は、2.9 対 3.4 と有意差があった ($t=12.7, p<0.01$)。このことから、リスク高群の方が低群よりも食事づくりの充実や食事の満足度が低いことがわかった。

さらに、保護者自身が「健康である (1 点) ~ 健康ではない (4 点)」も同様に両群のスコアの平均値は、2.7 対 3.2 と有意差があった ($t=12.6, p<0.01$)。

図 55 保護者の食事づくりのつらさ感との関連

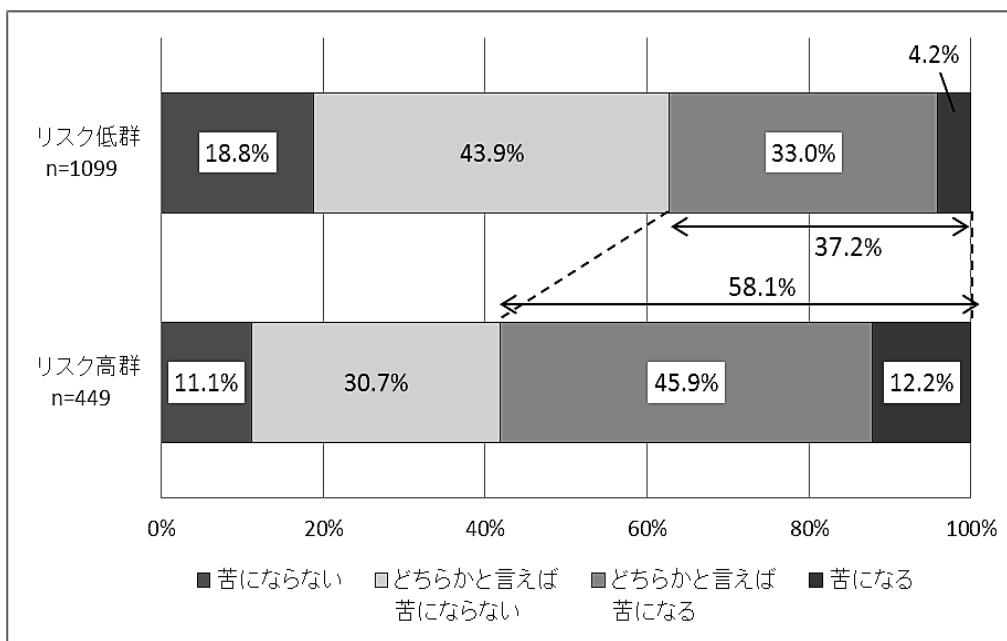


図 56 保護者の食事感との関連 「楽しく食事をしているか」

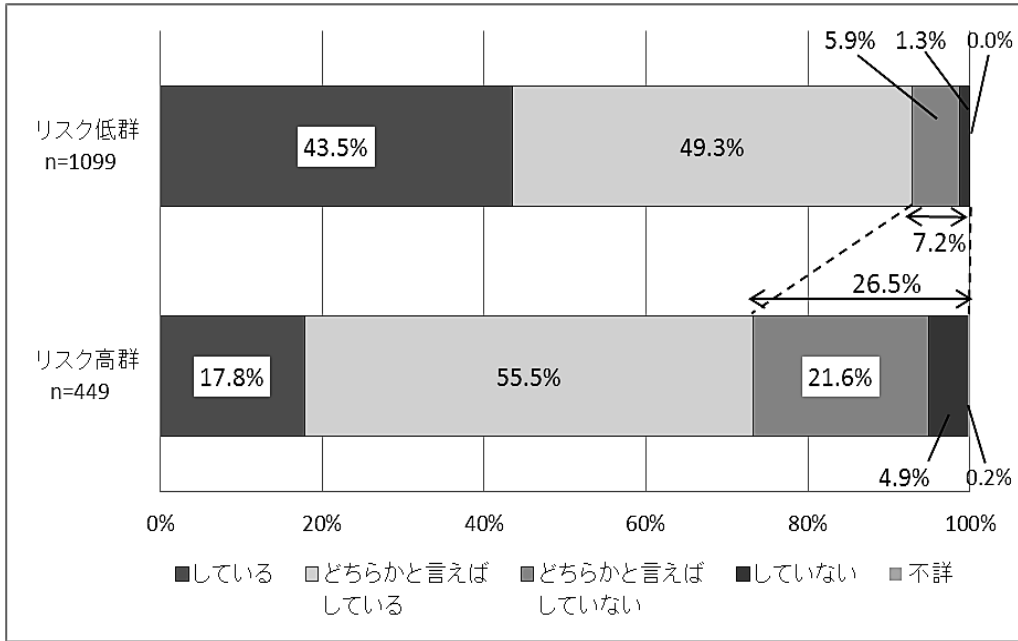
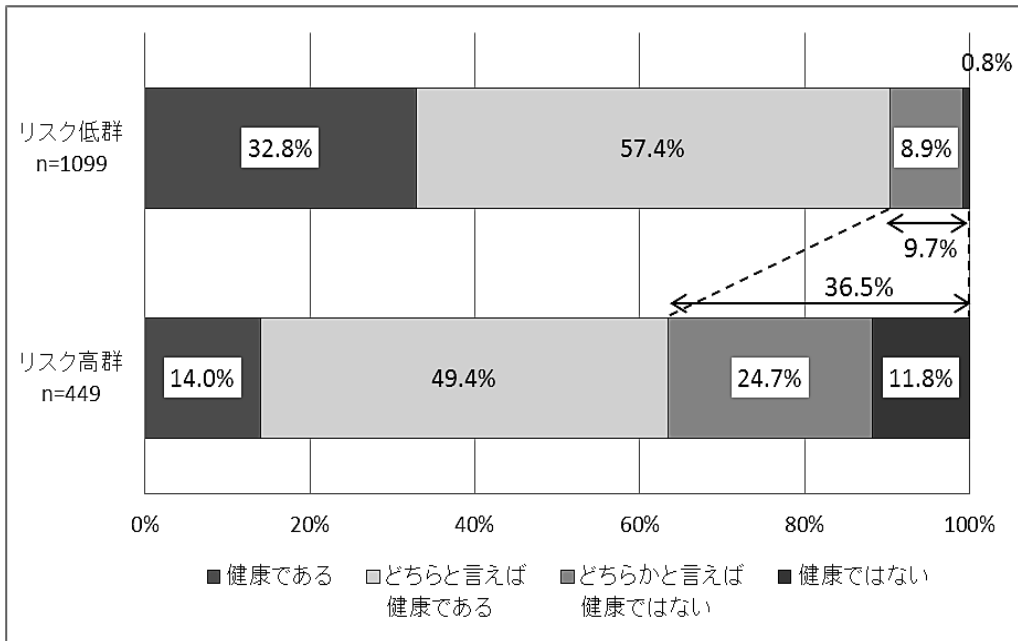


図 57 保護者自身の健康認識との関連 「自分自身のことを健康だと思えますか」



第4部 保護者の子育てに関すること

1 子育て家庭に必要な地域サポートについて

保護者が考える子育て家庭に必要な地域サポート（p69 参照）は、回答者が多い順に「遊び場の提供」が 80.0%、「安心できる野菜の直売」が 40.1%、「簡単レシピの紹介」が 29.3%であった。（図 58）

食の知識を得ることに関連し、「簡単レシピの紹介」、「安全な食の知識」、「伝統食の紹介」を合計すると、45.7%であった。食の体験に関連し、「食事をする場」、「保育つきクッキング教室」を合計すると、27.5%であった。

無回答が 2.5%であり、97.5%の保護者が地域で何らかの子育てサポートを必要としている。

また、その他が 8.2%であり、内容については自由記載とした。その内容をカテゴリー化したところ、回答が多い順に「保育所・幼稚園・託児サービスの充実」が 32.3%、「遊び場の充実」が 13.4%、「医療の充実」及び「治安の改善」が 11.0%、「子育てサークルや子育て相談場所等の充実」が 9.4%であった。1.6%ではあるが、「精神面での支援」を必要としている保護者もあり、メンタルケアや家庭訪問の希望も見られた。（図 59）

図 58 子育て家庭に必要な地域のサポート

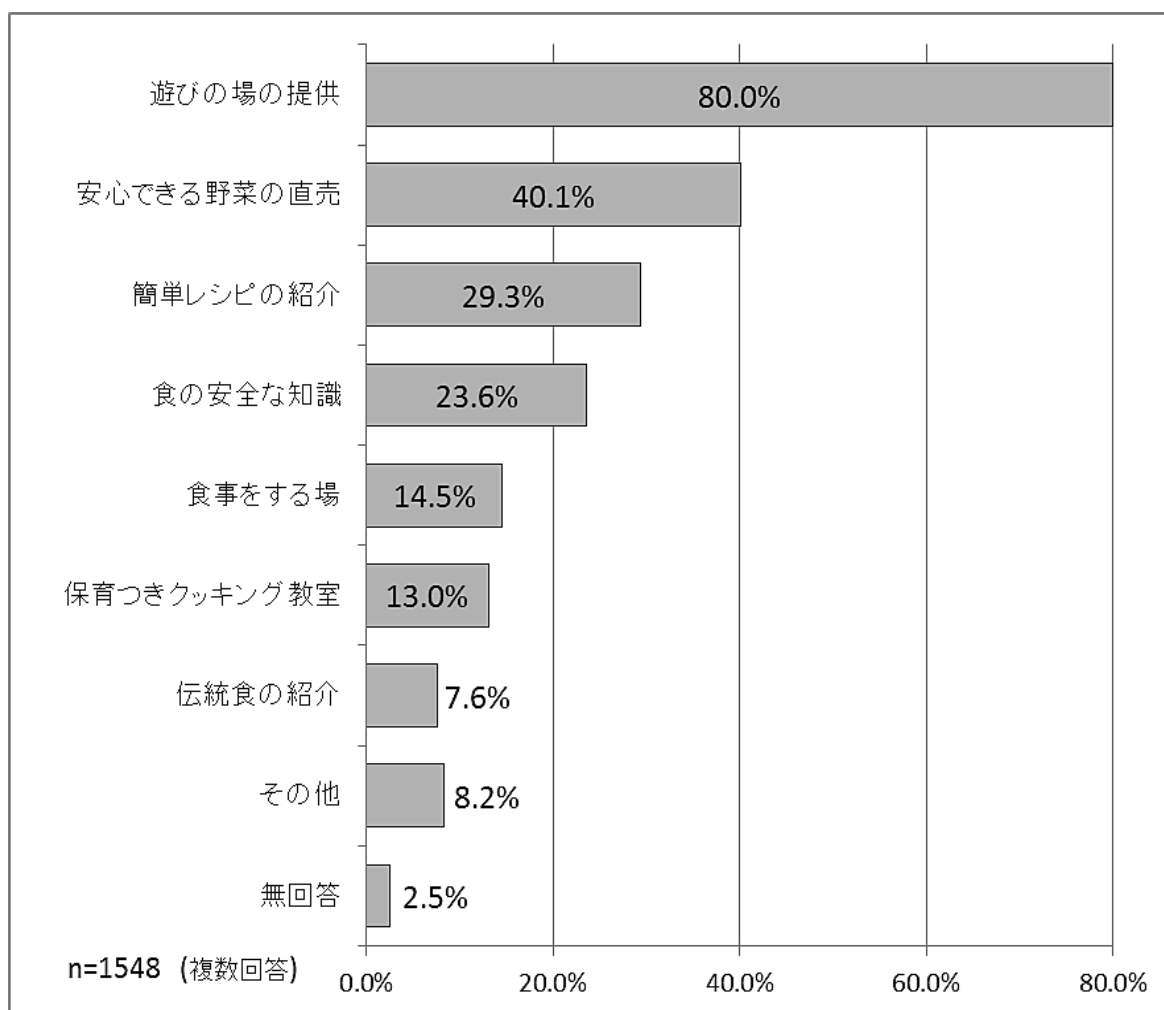
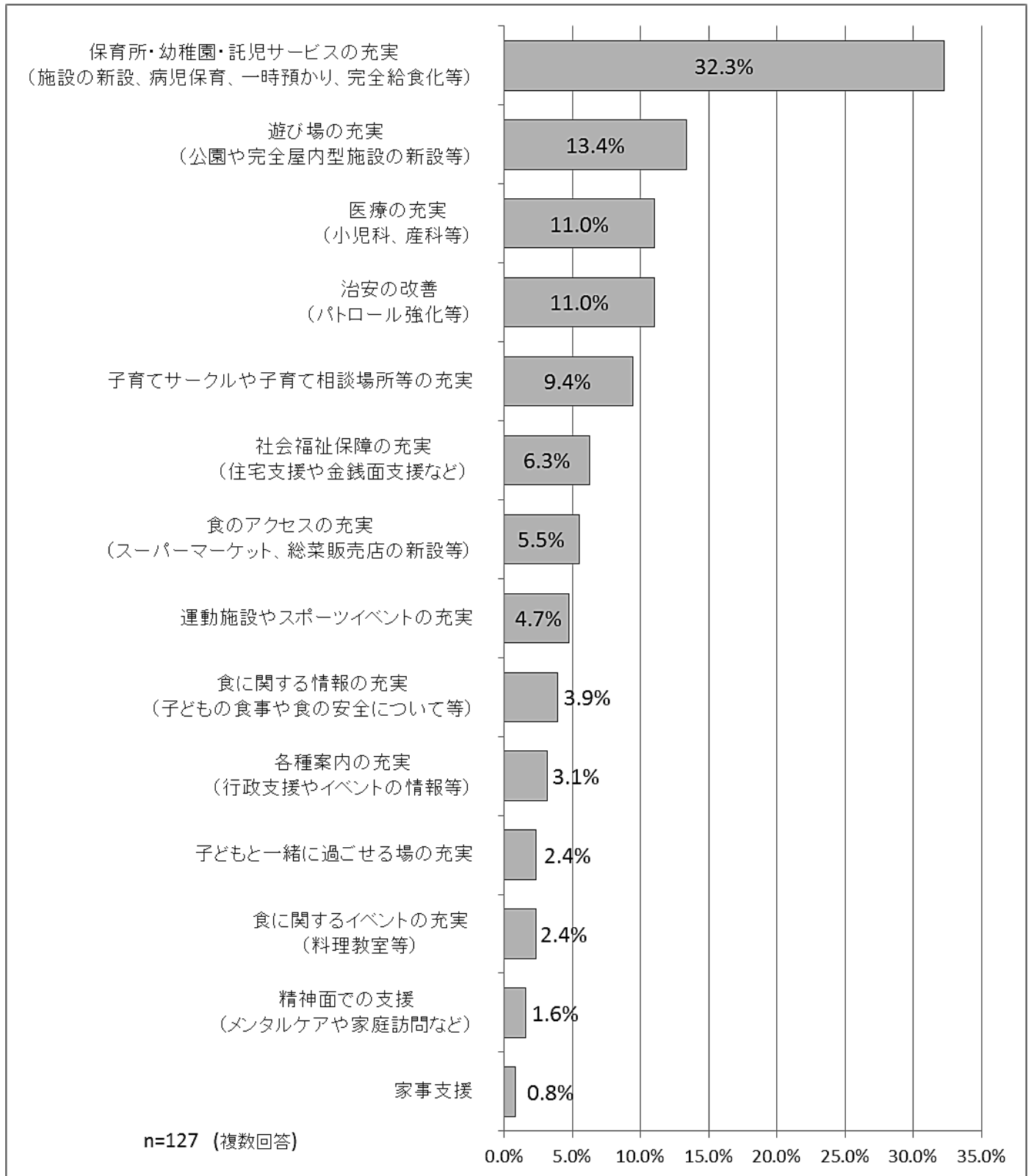


図 59 その他の自由記載の内訳



2 保護者の食やスポーツに関するイベントの参加状況

過去1年間の食のセミナー等の参加状況及び親子で参加できるスポーツイベントの参加状況は、どちらも0回と回答した者の割合が一番多かった（それぞれ89.5%、78.7%）。（図60）

年に1～2回参加した者の割合は、親子で参加できるスポーツイベントの参加状況（16.1%）の方が、食のセミナー等の参加状況（8.0%）に比べて、約2倍多い状況であった。（図61）

図60 過去1年間の食のセミナー等（クッキング教室や食に関する講演会等）の参加状況

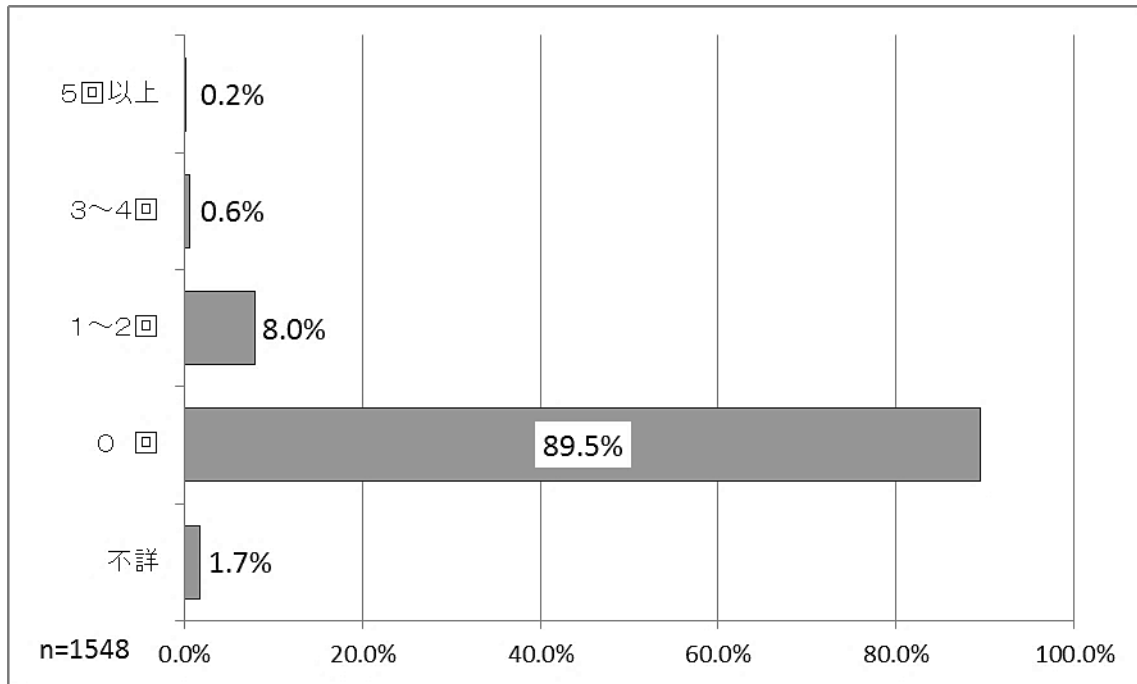
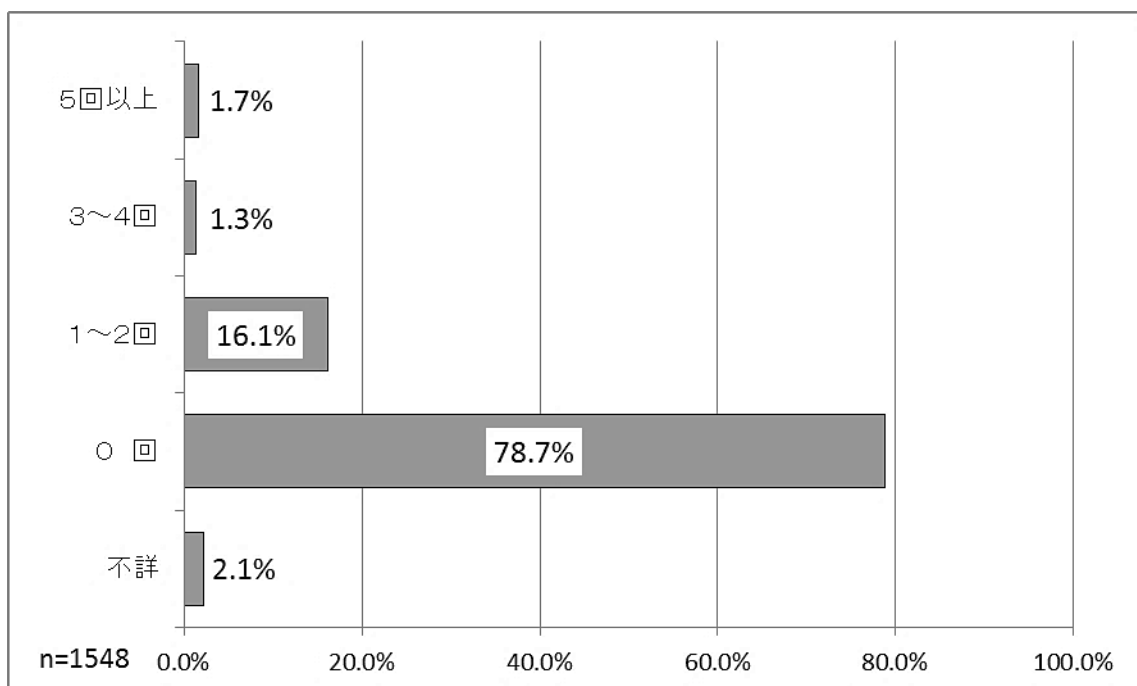


図61 過去1年間の親子で参加できるスポーツイベント（スポーツ教室や大会など）の参加状況



第5部 施設の食育推進に関すること

1 保健業務（身体測定、歯科検診）の状況

(1) 身体測定回数と肥満度の算出状況

身体測定の年間の回数は、最も多かったのが、「年12回」が41.2%、次いで「年3回」が38.2%、「年2回」が11.8%という結果であった。（「年1回」という選択肢もあったが、選択した施設はなかった。）（図62）

また、肥満度の算出状況としては、最も多かったのは、「していない」が52.9%であった。「している」と答えた施設は38.2%で、その内訳は、「年1回」が8.8%、「年2回」が23.5%、「年12回」が5.9%であった。（図63）

図62 身体測定年間の回数状況

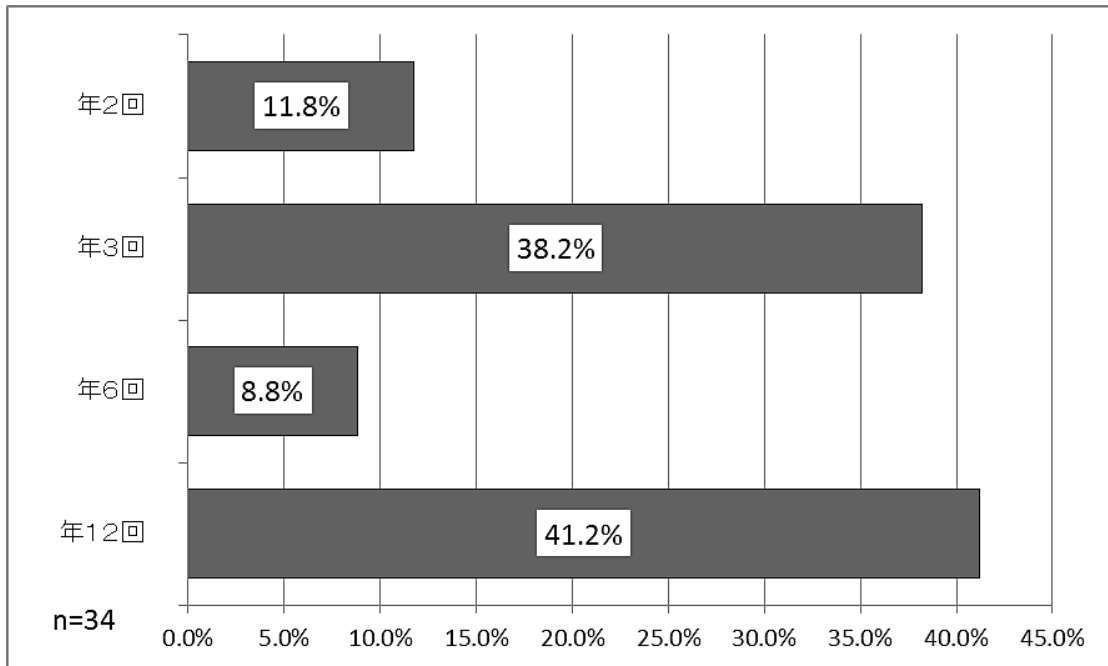
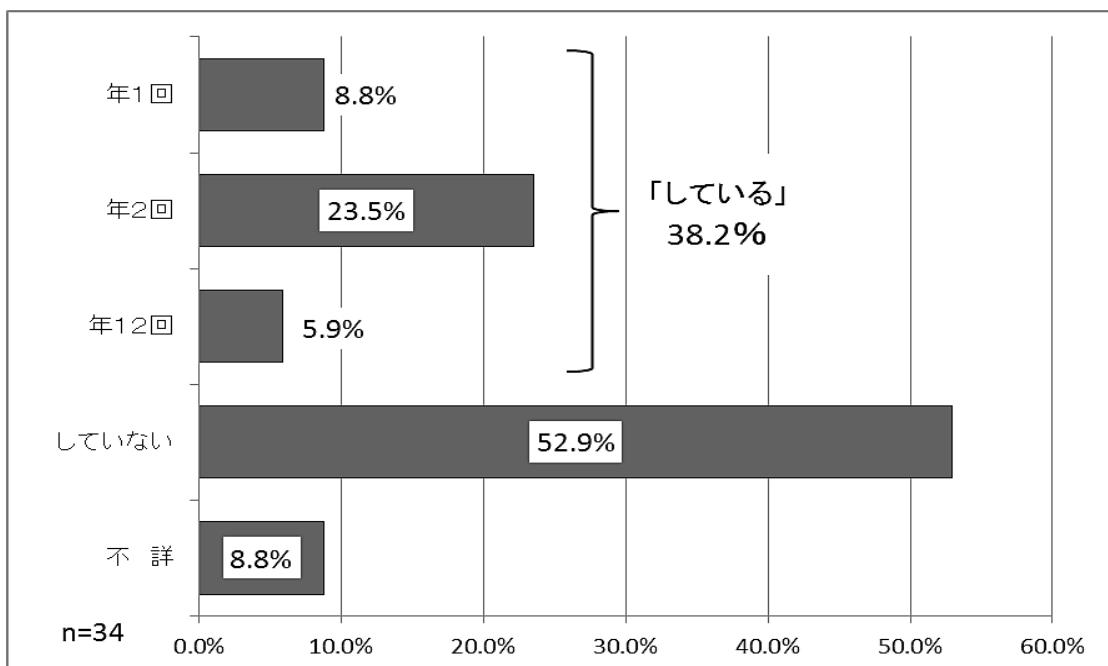


図63 肥満度の算出状況



(2) 歯科検診の実施状況

歯科検診の年間実施状況では、最も多かったのが、「年1回」が91.2%であり、次いで、「年2回」と「していない」がともに2.9%であった。(図64)

歯科検診の結果では、「要治療歯のある者」は全体の31.5%、「要観察歯のある者」は全体の6.7%という結果であった。「要治療歯のある者」の割合を満3歳児(22.3%)と満5歳児(43.2%)で比べると、約20%の増加が見られ、1人平均むし歯本数も増加する傾向が見られた。(表2)

図64 歯科検診の年間実施状況

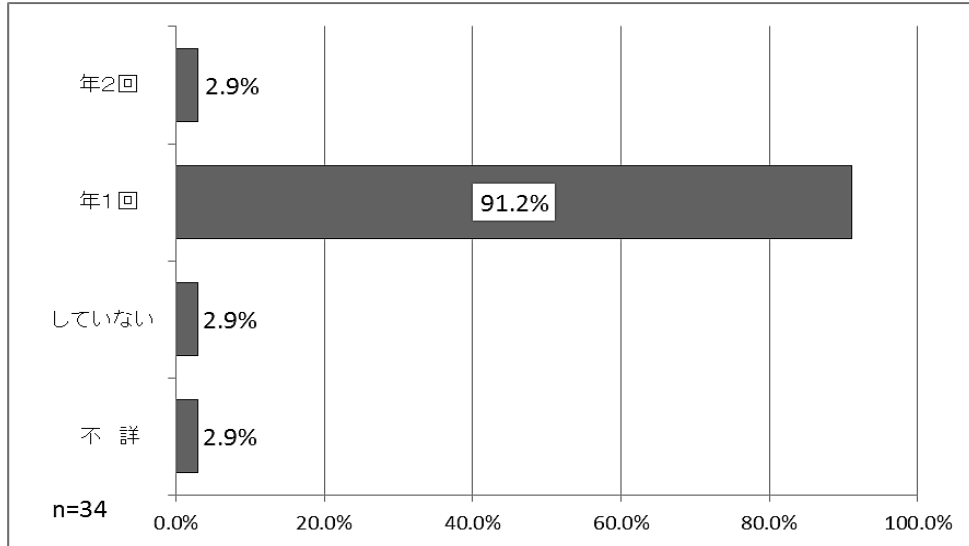


表2 歯科検診の結果 (回答があった31施設分の集計)

年齢	男・女	実施人数	要治療歯のある者				要観察歯のある者	
			人数	割合	むし歯の総本数	1人平均むし歯本数	人数	割合
満3歳児	男	184	36	19.6%	95	0.52	11	6.0%
	女	211	52	24.6%	157	0.74	12	5.7%
	合計	395	88	22.3%	252	0.64	23	5.8%
満4歳児	男	226	84	37.2%	288	1.27	20	8.8%
	女	215	64	29.8%	199	0.93	8	3.7%
	合計	441	148	33.6%	487	1.10	28	6.3%
満5歳児	男	241	104	43.2%	368	1.53	25	10.4%
	女	231	100	43.3%	393	1.70	17	7.4%
	合計	472	204	43.2%	761	1.61	42	8.9%
合計		2144	676	31.5%	2239	1.04	144	6.7%

<参考> 3歳児歯科健康診査結果

	3歳児歯科健康診査受診者	要治療歯のある者				要観察歯のある者	
		人数	割合	むし歯の総本数	1人平均むし歯本数	人数	割合
県	13720	3628	26.4%	14477	1.06	1501	10.9%
相双地区	922	256	27.8%	1131	1.23	79	8.6%

(出展：平成26年度福島県歯科保健情報システム集計結果 福島県保健福祉部健康増進課)

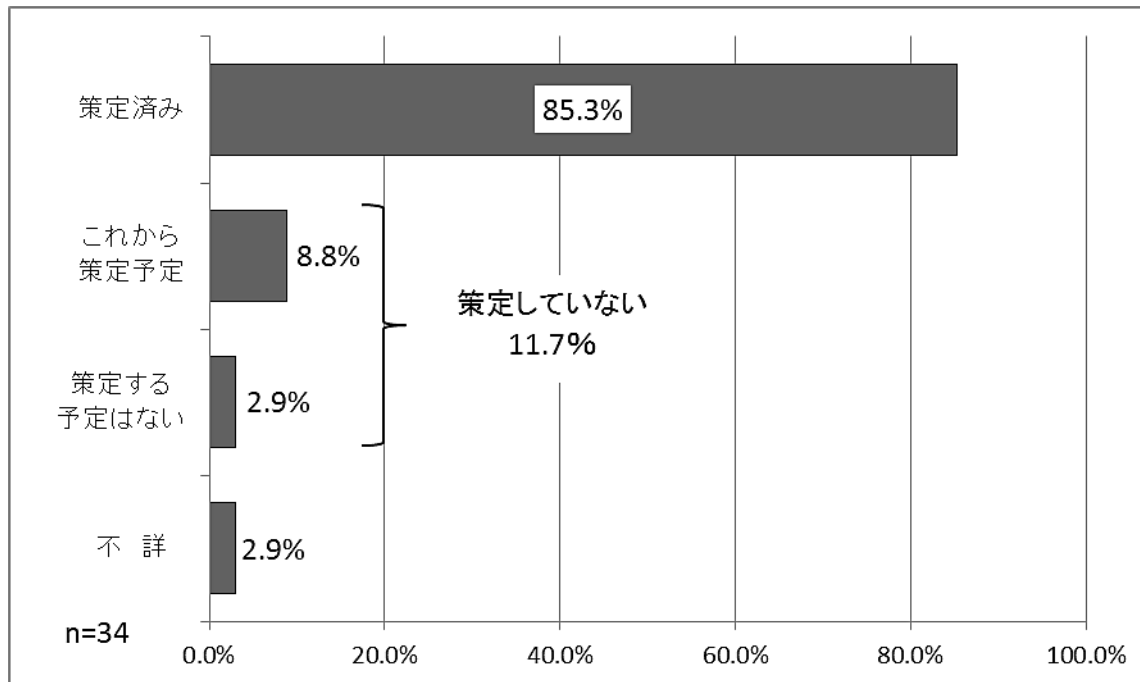
2 食育の取組状況

(1) 食育計画の策定状況

食育計画の策定状況は、「策定済み」が85.3%で、「策定していない」が11.7%という結果であった。「策定していない」の内訳としては、「これから策定予定」が8.8%、「策定する予定はない」が2.9%という結果であった。(図65)

平成20年度の本県の調査と比較すると、策定している施設が増えており、食育に対する関心が、この7年間の間で深まっていることが推測される。

図65 食育計画の策定状況



<参考>

食育計画の策定状況 (平成20年度) ※福島県内の幼稚園・保育所482施設の回答

	策定している	策定していない	無回答
施設の割合	66.8%	32.6%	0.6%

(出典：食を通した子育て・子育て支援事業 食育に関する実態調査報告書

会津大学短期大学部 福島県保健福祉部 平成20年3月)

(2) 食育や保健に関する会議の開催状況

食育や保健に関する会議の開催状況では、「開いている」が 61.8%、「開いていない」が 35.3% という結果であった。(図 66)

会議の内容では、最も多かったのが、「食育の実施に関すること」が 81.0%、次いで、「食育計画に関すること」が 61.9%、「給食の献立の検討に関すること」と「子どもたちの肥満傾向ややせ傾向に関すること」がともに 47.6%、「食育の評価に関すること」と「むし歯対策に関すること」がともに 28.6%であった。(図 67)

図 66 食育や保健に関する会議の開催状況

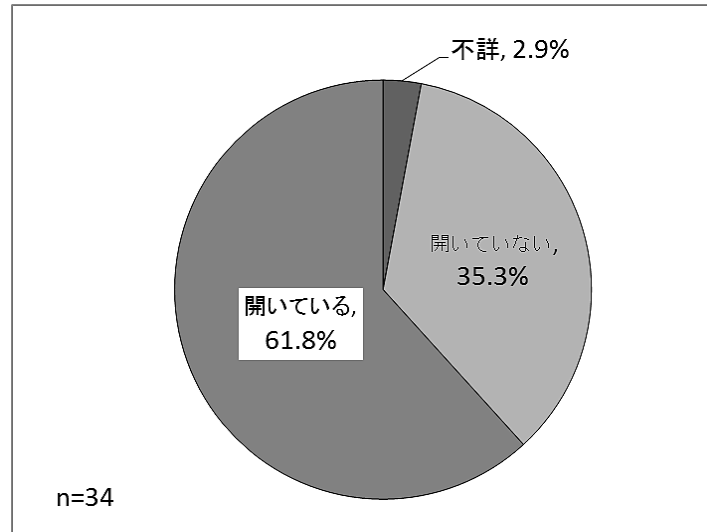
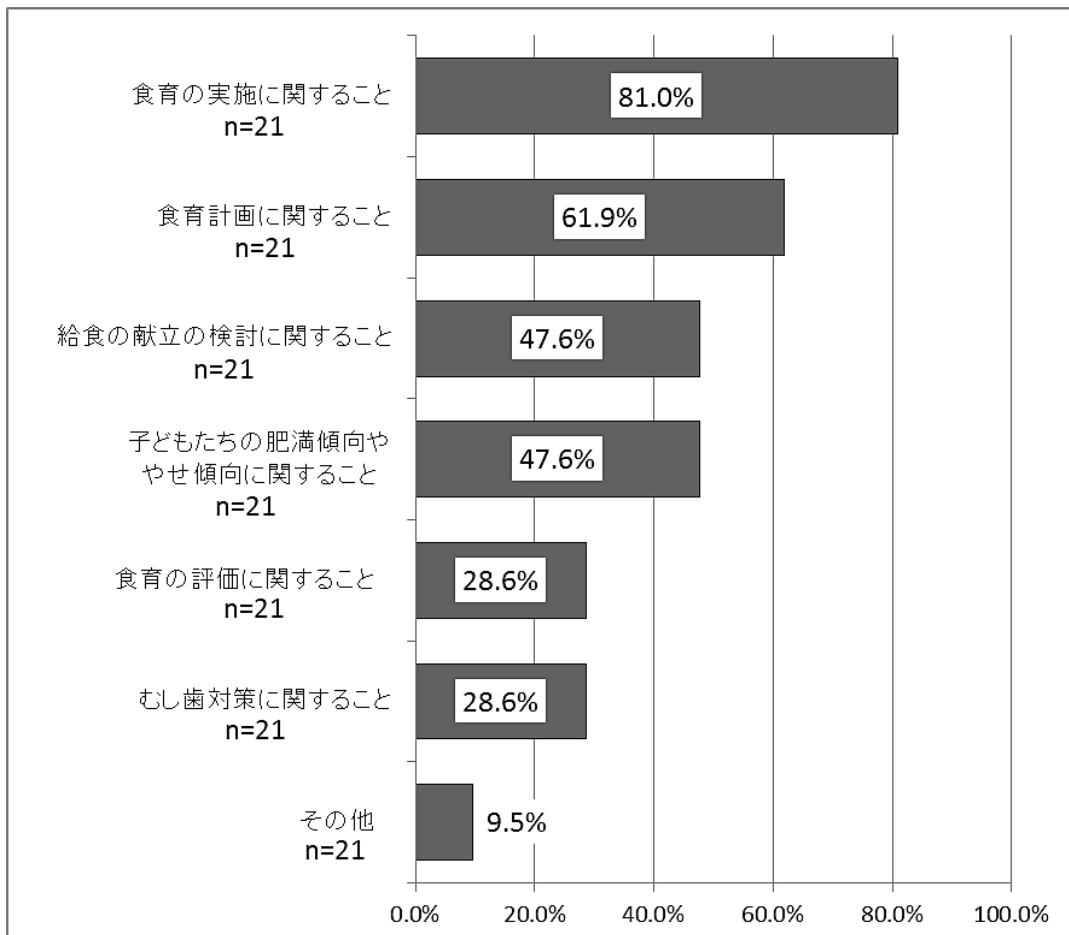


図 67 会議の内容

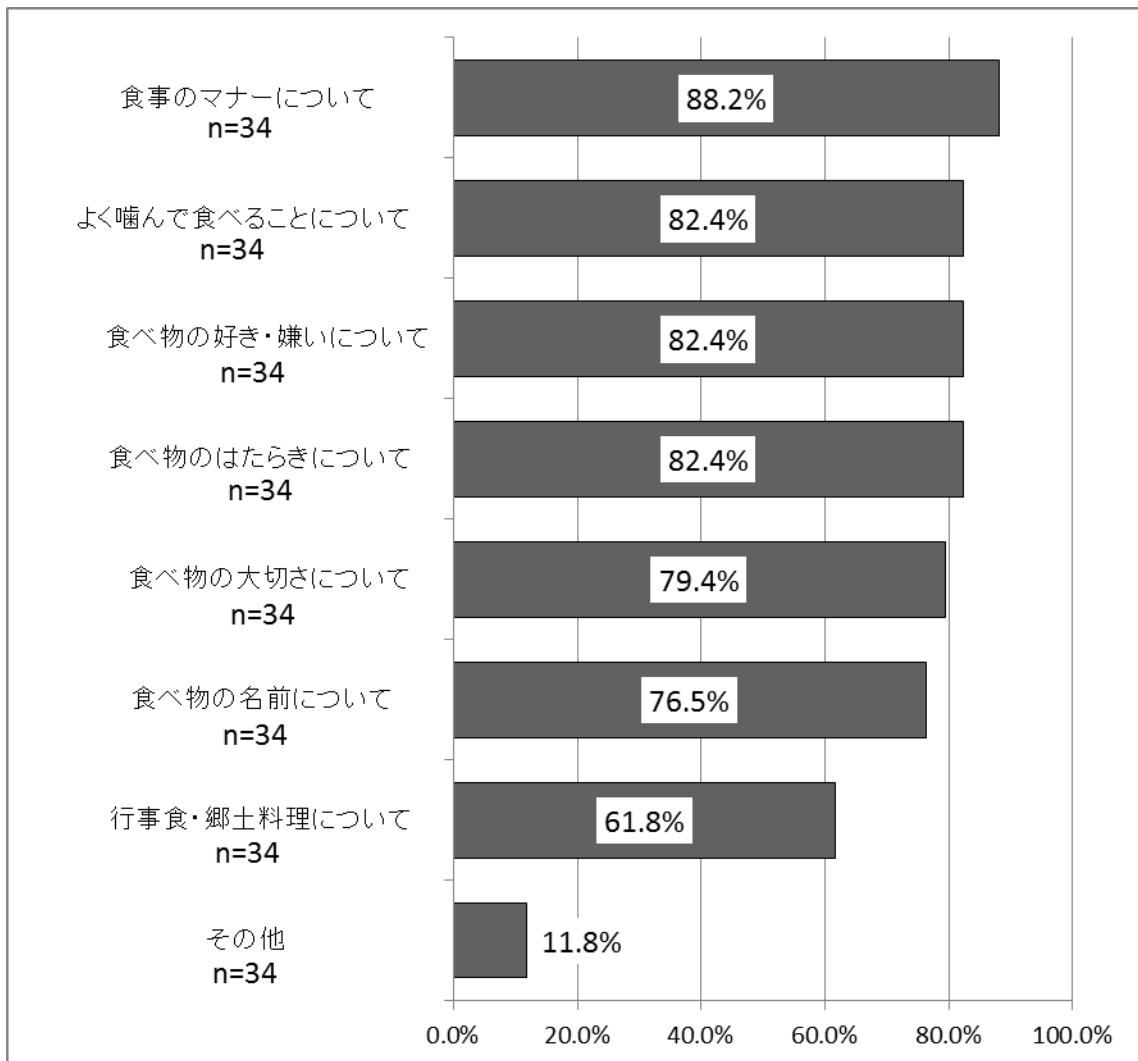


(3) 子どもたち向けの食育の取組状況

子どもたち向けの食に関するお話の内容では、最も多かったのは、「食事のマナーについて」が88.2%の施設で実施されており、次いで、「よく噛んで食べることについて」、「食べものの好き・嫌いについて」、「食べ物のはたらきについて」がそれぞれ82.4%、「食べ物大切さについて」が79.4%、「食べ物の名前について」が76.5%、「行事食・郷土料理について」が61.8%、「その他」が11.8%という結果であった。(図68)

また、子どもたち向けの食に関する活動・体験の内容では、最も多かったのは、「野菜作り」が58.8%の施設で実施されており、次いで、「お菓子作り」が44.1%、「料理教室」が41.2%、「その他」が29.4%という結果であった。(図69)

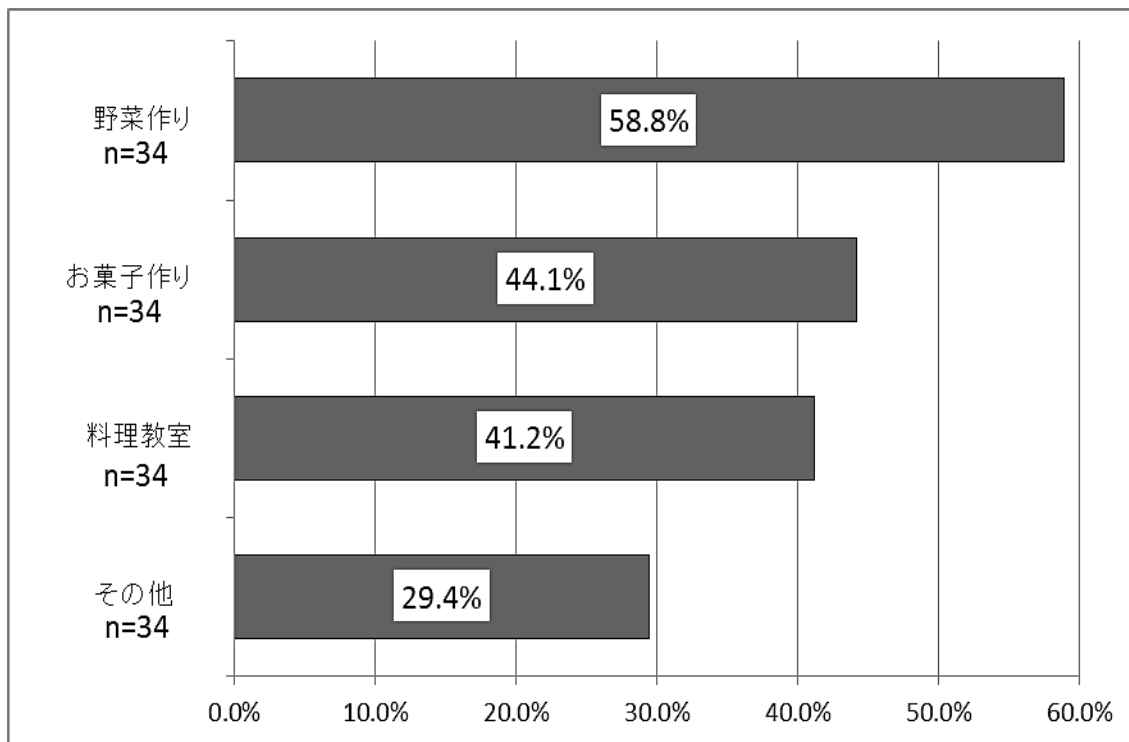
図68 食に関するお話の内容（複数回答）



<その他の内容>

- ・「早寝・早起き・朝ごはん」について
- ・食に関する絵本の読み聞かせ

図 69 食に関する活動・体験の内容



<その他の内容>

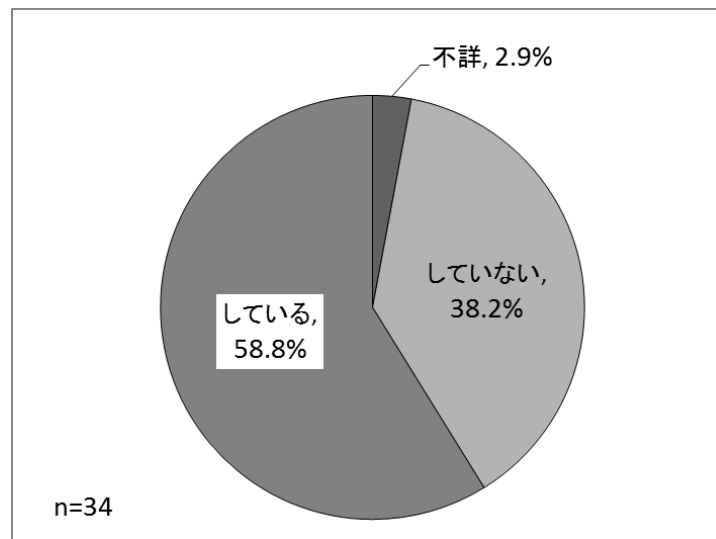
- ・おやつ作り（おはぎ、恵方巻き、お団子、イチゴジャム）
- ・季節の行事に合わせて食材を見たり、触れたりする機会を作る。
（スイカ割り、さつまいも、もちつき会、七草など）
- ・給食に利用する食材の下準備（野菜の皮むき、煮干しのわた取り）
- ・牛の乳しぼり
- ・魚釣り（釣った魚を食べる）
- ・作った野菜を食べずにスタンプにして触れる機会をつくった。
- ・旬の野菜（育てたもの）を食べる。（生やゆでたりして、素材の味を楽しむ。）
- ・バイキング給食を実施し、自分の食べられる量を盛りつける。

(4) 保護者会などの集まりでの食や生活・運動に関する指導・助言について

保護者会などの集まりでの食や生活・運動に関する指導・助言の状況では、「している」施設が58.8%、「していない」施設が38.2%であった。(図70)

具体的な内容については、講話だけではなく、親子での食や運動の体験を取り入れたり、給食や離乳食の試食会を取り入れている施設があった。

図70 保護者会などの集まりでの食や生活・運動に関する指導・助言の状況



<具体的な内容>

○ 食や生活習慣に関すること

・ 食生活に関する講話

(偏食、食事のマナー(箸の持ち方、食べ方など)、野菜の摂取、朝食摂取など)

・ 月に1回の誕生会に有志の保護者がランチを手作りし、全園児で喫食。

・ 毎日のお弁当づくりについての助言(個人に合った量やおかずなど)

・ 給食参観・試食会の実施(子どもに提供している味の濃さを知ってもらう)

・ 離乳食の試食も含めた離乳食指導

・ 1日分の野菜の目安量やおやつ量をフードモデルを使用し展示

・ 親子での食育体験の実施

(クッキング教室、味噌汁作り、お弁当づくり、試食会、農業体験、乳搾り、魚釣り)

・ 外部講師を招いた講演会(講話)の実施

(栄養教諭、養護教諭、県栄養士会、食育専門家等)

・ 子育て講座

○ 運動に関すること

・ 作業療法士から幼児の体の発達、運動の大切さについての講話と実技

・ 作業療法士を招いて、子どもの発達に合わせた動きを親子で楽しく運動しながら実施

・ 親子サッカー教室の実施

(5) 保護者等への個別の食や生活・運動に関する指導・助言について

保護者等への個別の食や生活・運動に関する指導・助言の状況は、「している」が55.9%、「していない」が41.2%という結果であった。(図71) 個別指導の方法としては、子どもたちの送迎時や登園時に保護者と話したり、個別に年1回以上保護者と面談するという施設もあった。

また、おたより等での食や生活・運動に関する情報提供の状況は、「している」が94.1%、「していない」が5.9%という結果であった。(図72)

図71 保護者等への個別の食や生活・運動に関する指導・助言の状況

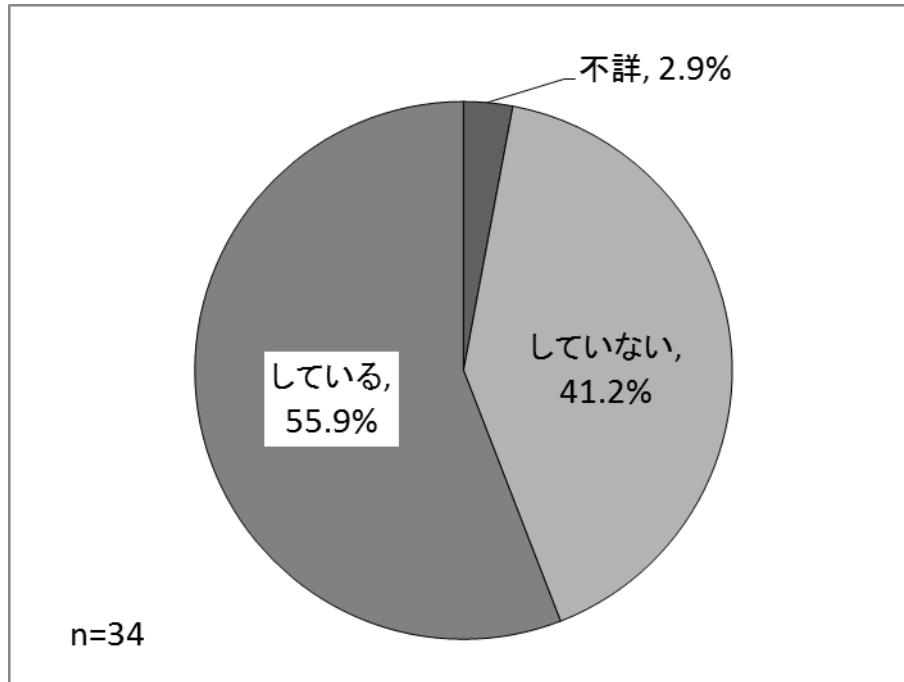
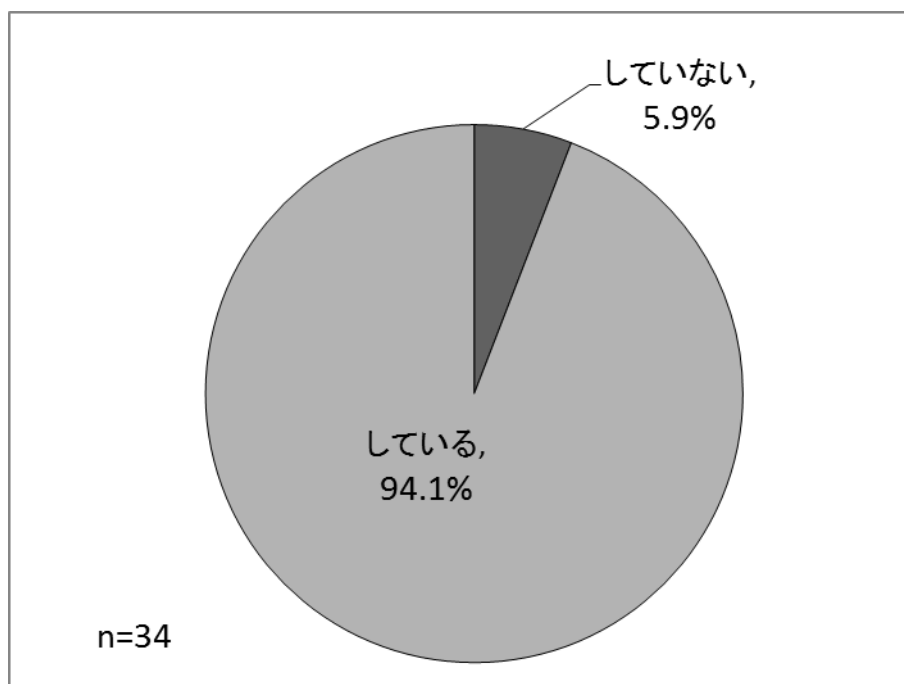


図72 おたより等での食や生活・運動に関する情報提供の状況



3 運動や外遊びの状況

(1) 施設で1日に体を動かす時間について

各施設での運動時間の状況では、屋内において最も多かったのが、「1時間以上2時間未満」で44.1%であり、屋外において最も多かったのが、「1時間未満」で50.0%であった。「3時間以上4時間未満」、「4時間以上」という選択肢を屋内、屋外ともに選択する施設はなかった。(図73)

また、屋内での運動時間別に屋外での運動の時間を見たところ、屋内で「1時間未満」と答えた施設で最も多かったのは、屋外で「1時間未満」と答えた施設であった(75.0%)。屋内で「1時間以上2時間未満」と答えた施設で最も多かったのは、屋外で「1時間以上2時間未満」と答えた施設であった(46.7%)。屋内で「2時間以上3時間未満」と答えた施設で最も多かったのは、屋外で「1時間以上2時間未満」と答えた施設であった(60.0%)。(図74)

平成23年8月26日付 厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知「福島県内の保育所等の園舎・園庭等の線量低減について」では、前に発出されている通知で「園庭で $3.8\mu\text{Sv}$ 以上の空間線量率が計測された保育所等については、屋外活動は1日あたり1時間程度にする」といった屋外活動の制限がされていたが、本通知により「毎時 $3.8\mu\text{Sv}$ を超える空間線量率が測定される保育所等はなくなったことから、毎時 $1\mu\text{Sv}$ 未満を目安とし、仮に毎時 $1\mu\text{Sv}$ を超えることがあっても、屋外刈る等を制限する必要はない」と示している。しかし、未だ半数の施設で屋外活動が「1時間未満」と回答があった。

図73 屋内と屋外の運動時間の状況

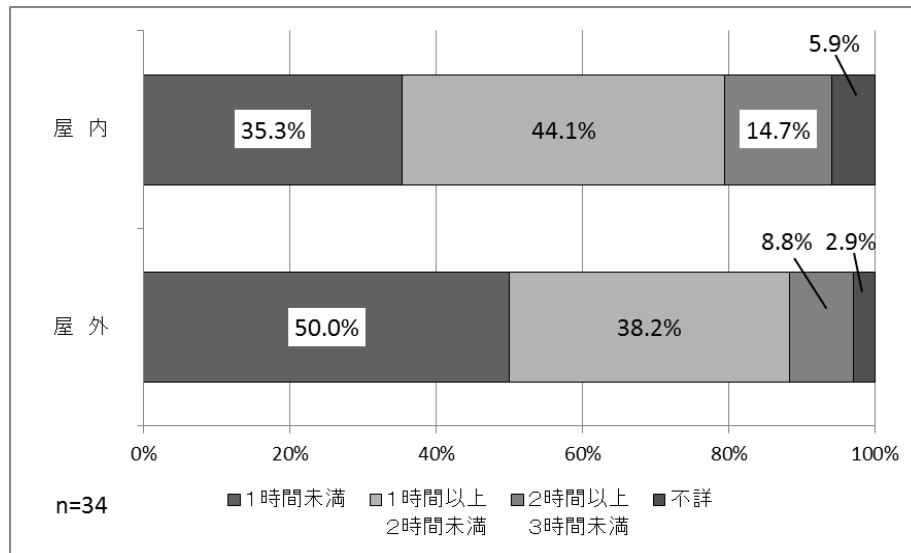
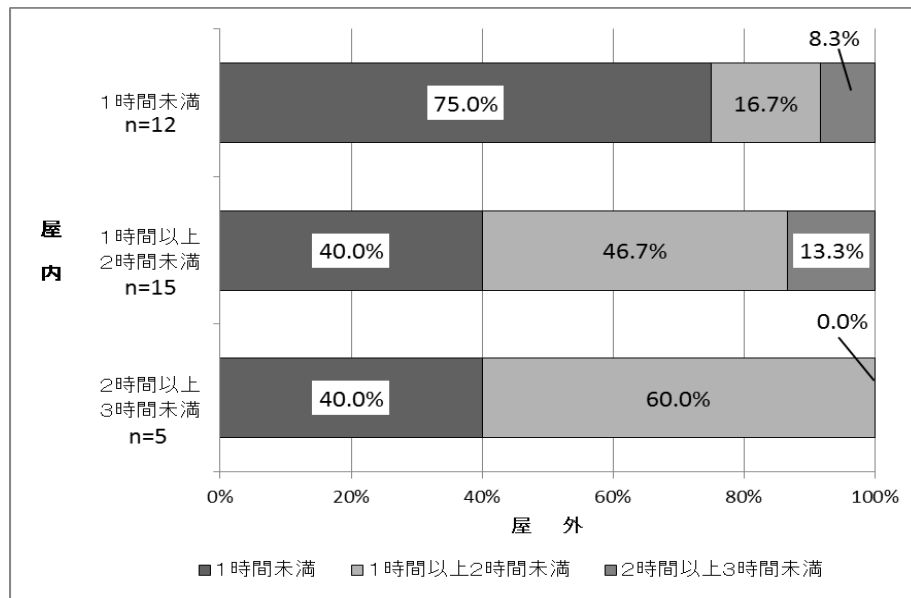


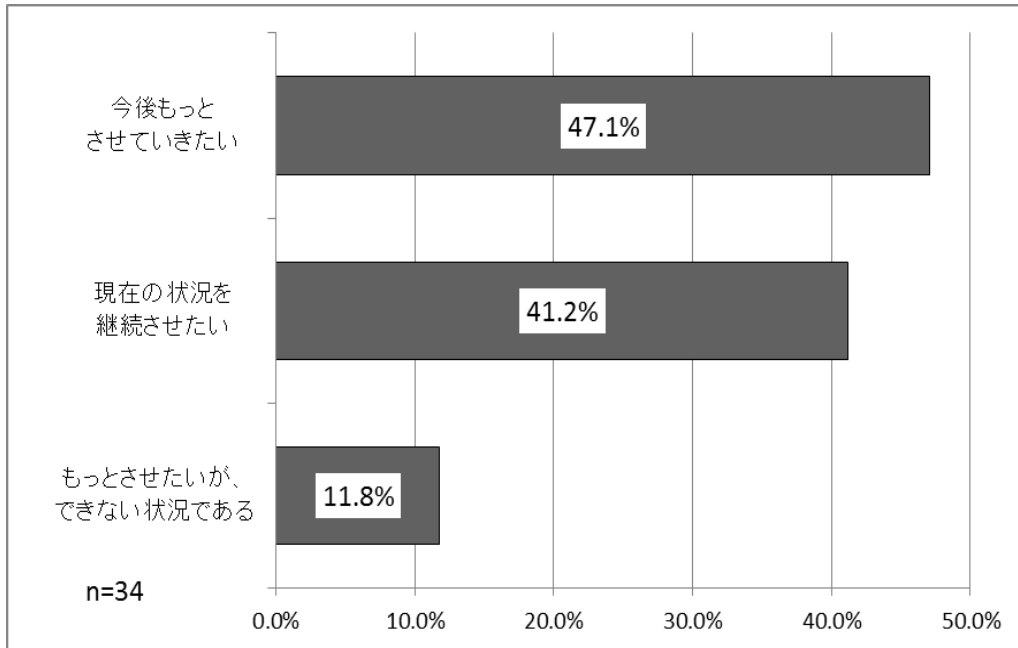
図74 屋内の運動時間別 屋外の運動時間の状況 (不詳は除く。)



(2) 施設における運動に対する考え方について

施設での運動に対する考え方では、「今後もっとさせていきたい」が47.1%で最も多く、次いで、「現在の状況を継続させたい」が41.2%、「もっとさせたいが、できない状況である」が11.8%であった。「運動の必要性を感じていない」という選択肢もあったが、選択する施設はなかった。(図75)

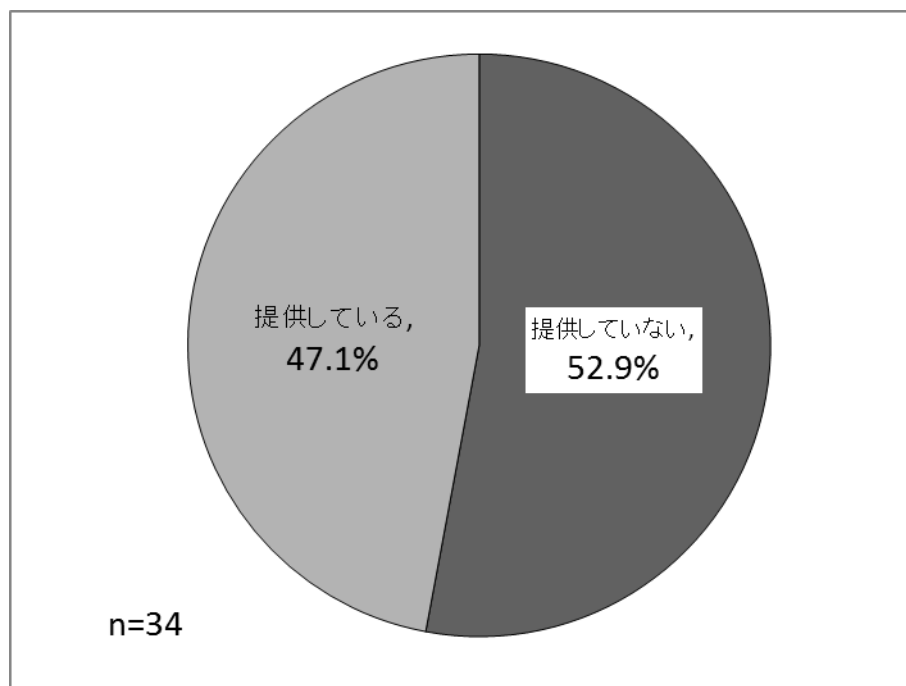
図 75 施設における運動に対する考え方



4 施設におけるおやつを提供状況

おやつを提供している施設は 47.1%で、提供していない施設は 52.9%であり、半々の結果であった。

図 76 施設におけるおやつを提供状況



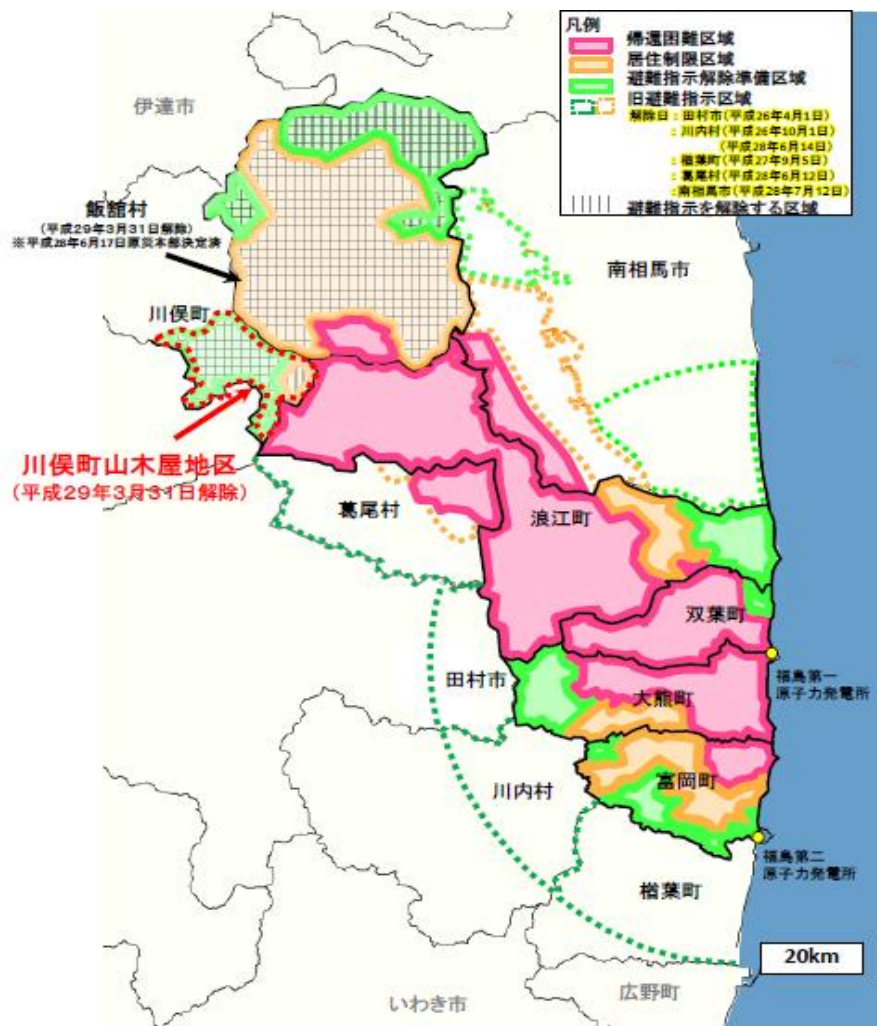
IV 資料

- | | | |
|---|----------------------------|--------|
| 1 | 相双地域の概要地図 | p52 |
| 2 | 施設用調査票 | p54～59 |
| 3 | 保護者用調査票 | p60～69 |
| 4 | 参考文献 | p70 |
| 5 | 子どもの食を考える相双地域ネットワーク会議構成機関等 | p71 |

<相双地域の概要地図>



<福島第一原子力発電所事故の避難地域地図> (平成28年10月28日現在)



施設用調査票

27相保福第2156号
平成28年 2月10日

各保育所長
各幼稚園長 様
各認定こども園長

福島県相双保健福祉事務所長
(公 印 省 略)

「子どもとその保護者の食習慣や生活習慣」に関する実態調査の
協力について（依頼）

日ごろより当地域の食育の推進に御協力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、相双地域では、子どもたちの肥満やう蝕が増加傾向にあります。その要因として食環境が関連していると考えられており、味覚や食習慣が形成される幼児期での対策が必要となっています。

このため、当所では、学校法人尚絅学院 尚絅学院大学に御協力いただき、「子どもとその保護者の食習慣や生活習慣」に関する実態調査を実施することといたしました。

つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、別紙調査票に貴施設の状況を記入いただき、また、通園されている3歳以上児の保護者への調査票の配付及び回収に御協力いただけますようお願いいたします。

なお、この調査に関しましては学校法人尚絅学院 尚絅学院大学の「人間対象の研究・調査に関する倫理審査委員会」の承認を得ていますことを申し添えます。

記

1 調査目的及び結果の活用等

別紙「子どもとその保護者の食習慣や生活習慣」に関する実態調査要領」参照。

2 調査票の様式

- (1) 「子どもとその保護者の食習慣や生活習慣」に関する実態調査（保護者用）
- (2) 「子どもとその保護者の食習慣や生活習慣」に関する実態調査（施設用）

3 調査票の配付・回収

- (1) 3歳以上児1名に対し保護者用調査用紙1部を保護者に配付し、回収期限までに回収願います。
- (2) 回収した保護者用調査票及び施設用調査票は、回収袋に封入し、貴施設を管轄する市町村教育委員会または市町村担当課へ返送願います。

4 返送期限等

施設回答・回収期限：平成28年2月22日（月）

貴施設担当課返送期限：平成28年2月25日（木）

(事務担当 健康福祉部健康増進課 栄養技師 大滝 電話 0244-26-1138)

「子どもとその保護者の食習慣と生活習慣」に関する

実 態 調 査

(施 設 用)

この調査は通園されているお子さん及び施設の状況についてお伺いしています。

- この調査は福島県相双保健福祉事務所が実施する調査です。なお、調査実施に関して尚絅学院大学に協力をいただいております。
- 調査結果につきましては、子どもの食を考える相双地域ネットワーク会議において対策を協議する基礎資料及び大学が行う研究の目的以外には使用いたしません。
- 本調査で得られた結果は、個人情報特定されないことがないよう統計的な処理を行った上で、学術会議や報告書等で報告を行います。また、調査後の結果等は福島県相双保健福祉事務所及び大学内で厳重に保管されます。
- 本研究の調査は尚絅学院大学人間対象研究・調査の倫理委員会にて調査の内容・計画について承認を得ております。
- 上記の調査の説明をご一読頂き、本調査への回答に同意頂けます場合には、次のページからの項目にお答え下さいますようお願い致します。(アンケートへのご記入をもちまして、調査への参加同意とさせていただきます。本調査への参加に不同意の場合、アンケートに回答する必要がありません)
- 本調査への参加は、自由意志によるものです。答えたくない質問に対しては回答する必要はございません。また、本調査に参加しないことにより不利益が生じることはありません。

I 貴園の状況についてお聞きします。

問1 貴園の該当する所在地（市町村名）に丸をつけてください。

- (1) 相馬市 (2) 南相馬市 (3) 広野町 (4) 榑葉町 (5) 富岡町
(6) 川内村 (7) 大熊町 (8) 双葉町 (9) 浪江町 (10) 葛尾村
(11) 新地町 (12) 飯舘村

問2 貴園に通園している子どもたち（3歳以上児のみ）の人数をお教えてください。

（平成28年2月1日現在についてお答えください。）

<3歳児クラス>

名

<4歳児クラス>

名

<5歳児クラス>

名

問3 貴園の職員数をお教えてください。（平成28年2月1日現在についてお答えください。）

<保育業務担当者>

名

<給食業務担当者>

名

II 貴園の保健業務についてお聞きします。

問4 身体測定は、何回実施していますか。当てはまるものに丸をつけてください。

- (1) 年2回 (2) 年1回 (3) 月1回 (4) していない

問5 身体測定の結果から子どもたちの肥満度を算出していますか。当てはまるものに丸をつけてください。

(1) 年2回 (2) 年1回 (3) 月1回 (4) していない

↓
問5-1 肥満度を算出していた場合、その状況をお教えてください。

※ 特定給食施設栄養管理状況調査でお答えいただいている園もありますが、お手数ですがもう一度、御記入願います。最新のものがあれば、そちらで記入願います。 (平成 年 月 日現在)

年齢	男/女	対象人数	肥満に該当する者		やせに該当する者	
			人数	割合	人数	割合
満3歳児	男	人	人	%	人	%
	女	人	人	%	人	%
満4歳児	男	人	人	%	人	%
	女	人	人	%	人	%
満5歳児	男	人	人	%	人	%
	女	人	人	%	人	%
合計		人	人	%	人	%

問6 歯科検診は、何回実施していますか。当てはまるものに丸をつけてください。

(1) 年2回 (2) 年1回 (3) していない

↓
問6-1 歯科検診の結果を教えてください。 (平成 年 月 日実施)

年齢	男/女	実施人数	要治療歯のある者		要観察歯のある者	
			人数	総本数*	人数	総本数*
満3歳児	男	人	人	本	人	本
	女	人	人	本	人	本
満4歳児	男	人	人	本	人	本
	女	人	人	本	人	本
満5歳児	男	人	人	本	人	本
	女	人	人	本	人	本
合計		人	人	本	人	本

※総本数とは、要治療歯及び要観察歯と診断された者全員の要治療歯及び要観察歯を合計した数です。

Ⅲ 貴園の食育の取組みについてお聞きします。

問8 貴園の食育計画は策定していますか。当てはまるものに丸をつけてください。

- (1) 策定している (2) これから策定予定 (3) 策定する予定はない

問9 食育や保健に関する会議を開いていますか。当てはまるものに丸をつけてください。

- (1) 開いている (2) 開いていない



問9-1 どのような内容ですか。当てはまるものすべて丸をつけてください。

- (1) 食育計画に関する事 (2) 食育の実施に関する事
 (3) 食育の評価に関する事 (4) 給食の献立の検討に関する事
 (5) 子どもたちの肥満傾向ややせ傾向に関する事
 (6) むし歯対策について
 (7) その他(具体的に:)

問10 貴園での子どもたち向けの食育の取組みについてお教えてください。当てはまるものすべて丸をつけてください。

食に関するお話	(1) 食べ物の名前について (2) 食べ物のはたらきについて (3) 食事のマナーについて (4) 食べ物の大切さについて (5) 行事食・郷土料理について (6) 食べ物の好き・嫌いについて (7) よく噛んで食べることについて (8) その他 (具体的に:)
活動・体験 食に関する	(1) 料理教室 (2) 野菜作り (3) お菓子作り (4) その他 (具体的に:)

問11 保護者会などの集まりで食や生活・運動に関する指導・助言をしていますか。

- (1) している (2) していない



問11-1 具体的にどのようなことをされましたか。

()

保護者用調査票

27相保福第2156号

平成28年 2月10日

保育所・幼稚園に通園されている
3歳以上のお子様をもつ保護者の皆様

福島県相双保健福祉事務所長
(公印省略)

「子どもとその保護者の食習慣や生活習慣」に関する実態調査の
協力について（依頼）

日ごろより当地域の食育の推進に御協力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、相双地域では、子どもたちの肥満やむし歯が増加傾向にあります。その要因として食環境が関連していると考えられており、味覚や食習慣が形成される幼児期での対策が必要となっています。

このため、当所では、学校法人尚絅学院 尚絅学院大学に御協力いただき、「子どもとその保護者の食習慣や生活習慣」に関する実態調査を実施することといたしました。

つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、別紙調査票にご記入いただき、通園されている保育所・幼稚園にお渡しくくださいますよう御協力お願いいたします。

なお、この調査に関しましては学校法人尚絅学院 尚絅学院大学の「人間対象の研究・調査に関する倫理審査委員会」の承認を得ていますことを申し添えます。

記

1 調査目的

相双地域では、子どもたちの肥満やむし歯が増加傾向にあり、その要因として食環境が関連していると考えられていることから、幼児期の食環境について、保護者の生活状況も含めて実態把握をし、関係機関が連携して対策を構築できる基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査結果の活用

調査票は、尚絅学院大学が集計し、その結果を当所主催の「子どもの食を考える相双地域ネットワーク会議及び同ワーキング部会」において、対策等の基礎資料とする。また、調査結果は大学が行う研究にも使用します。

3 回答期限

平成28年2月22日（月）までに保育所・幼稚園にお渡しくください。

4 問い合わせ先

福島県相双保健福祉事務所 健康福祉部 健康増進課 （担当：大滝）

電 話：0244-26-1138

「子どもとその保護者の食習慣や生活習慣」に関する

実 態 調 査

(保護者用)

この調査は一人ひとりのお子さんや保護者の方の健康・食生活についてお伺いしています。

- この調査は福島県相双保健福祉事務所が実施する調査です。なお、調査実施に関して尚絅学院大学に協力をいただいております。
- 調査結果につきましては、子どもの食を考える相双地域ネットワーク会議において対策を協議する基礎資料及び大学が行う研究の目的以外には使用いたしません。
- 本調査で得られた結果は、個人情報特定されないことがないよう統計的な処理を行った上で、学術会議や報告書等で報告を行います。また、調査後の結果等は福島県相双保健福祉事務所及び大学内で厳重に保管されます。
- 本研究の調査は尚絅学院大学人間対象研究・調査の倫理委員会にて調査の内容・計画について承認を得ております。
- 上記の調査の説明をご一読頂き、本調査への回答に同意頂けます場合には、次のページからの項目にお答え下さいますようお願い致します。(アンケートへのご記入をもちまして、調査への参加同意とさせていただきます。本調査への参加に不同意の場合、アンケートに回答する必要がありません)
- 本調査への参加は、自由意志によるものです。答えたくない質問に対しては回答する必要はございません。また、本調査に参加しないことにより不利益が生じることはありません。

質問は一部マークシート形式になっております。下記の「マークの方法」をご覧ください、鉛筆もしくはシャープペンで当てはまる○を塗りつぶしてください。

(例) お子さんの性別を教えてください。当てはまる○を塗りつぶしてください。

(1) 男子 (2) 女子

マーク欄



マークの方法

良いマーク例：●

悪いマーク例：⊘ ⊙ ⊙

I お子さんの生活状況等についてお聞きいたします。

問1 お子さんの年齢を教えてください。(平成28年2月1日現在) 当てはまる○を1つ塗りつぶして
ください。 (1) 3歳 (2) 4歳 (3) 5歳 (4) 6歳

マーク欄 ○ ○ ○ ○

問1-2 お子さんの性別を教えてください。当てはまる○を1つ塗りつぶしてください。

(1) 男子 (2) 女子

マーク欄 ○ ○

問2 お子さんが現在住まわれているところについて、当てはまる○を1つ塗りつぶしてください。

(1) 一軒家 (2) 一軒家 (3) マンション・ (4) マンション・ (5) 仮設住宅 (6) 親戚(もしくは (7) その他
(持ち家) (賃貸) アパート (持ち家) アパート (賃貸) は知人家 その他

マーク欄 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

(具体的に :

問3 お子さんと一緒に住まわれている方をお教えてください。当てはまるすべての○を塗りつぶして
ください。

(1) 父 (2) 母 (3) 祖父 (4) 祖母 (5) きょうだい (6) その他

マーク欄 ○ ○ ○ ○ ○ ○

問4 お子さんの身長と体重をお教えてください。四角内に整数で記入してください。

<身長>

cm

<体重>

kg

問5 お子さんの昨年(2015年)の歯科検診の結果を教えてください。当てはまる○を1つ塗りつぶし
てください。

(1) 要治療 (2) 要観察 (3) 異常なし

○ ○ ○ マーク欄

問5-1 治療はもう済みましたか? 当てはまる○を塗りつぶしてください。

(1) 済んでいない (2) 通院中 (3) 済んだ

○ ○ ○ マーク欄

Ⅱ お子さんの生活習慣についてお聞きします。

問6 お子さんの起床時間と就寝時間をお教えてください。当てはまる○を1つ塗りつぶしてください。

1. 起床 (1) 6時前 (2) 6～7時の間 (3) 7～8時の間 (4) 8時以降
 マーク欄 ○ ○ ○ ○
2. 就寝 (1) 21時前 (2) 21～22時の間 (3) 22～23時の間 (4) 23時以降
 マーク欄 ○ ○ ○ ○

問7 お子さんの平日(月～土)の朝食を食べる頻度と食べ始める時間についてお教えてください。当てはまる○を1つ塗りつぶしてください。

1. 頻度	(1) 全く食べない	(2) 週1回以下	(3) 週2～3回	(4) 週4～5回	(5) ほぼ毎日
	マーク欄 ○	○	○	○	○
2. 時間	(1) 6時前	(2) 6～7時の間	(3) 7～8時の間	(4) 8時以降	
	マーク欄 ○	○	○	○	

問8 お子さんの平日(月～土)の夕食を食べ始める時間をお教えてください。当てはまる○を1つ塗りつぶしてください。(1) 18時前 (2) 18～19時の間 (3) 19～20時の間 (4) 20時以降

マーク欄 ○ ○ ○ ○

問9 お子さんと平日(月～土)の夕食を一緒に食べる方をお教えてください。当てはまるすべての○を塗りつぶしてください。

- | | | | | | | | |
|----------------------------|----------|----------|-----------|-----------|--------------|-------------|-------------------|
| (1)
誰とも一緒に食べない
(一人で) | (2)
父 | (3)
母 | (4)
祖父 | (5)
祖母 | (6)
きょうだい | (7)
近所の人 | (8)
<u>その他</u> |
| マーク欄 ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
- (具体的に：) ←

Ⅲ お子さんの運動の状況等をお聞きします。

問10 お子さんの平日(月～土)の平均の帰宅時間をお教えてください。当てはまる○を1つ塗りつぶしてください。

- | | | | | | |
|-------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|--------------|
| (1)
14時前 | (2)
14～15時の間 | (3)
15～16時の間 | (4)
16～17時の間 | (5)
17～18時の間 | (6)
18時以降 |
| マーク欄 ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

問11 お子さんが上記の時間に帰宅後、運動や外遊び（運動の習い事を含む）をする頻度と運動等をする時間をお教えてください。当てはまる○を1つ塗りつぶしてください。

1. 頻度		(1) ほとんどしない	(2) 週1回程度	(3) 週2～3日程度	(4) 週4～5日程度	(5) 週6日以上
	マーク欄	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 時間		(1) 30分以内	(2) 30分～ 1時間以内	(3) 1～2時間 以内	(4) 2～3時間 以内	(5) 3時間以上
	マーク欄	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

問12 お子さんの日祝日の運動や外遊び（運動の習い事を含む）の頻度と運動等をする時間をお教えてください。当てはまる○を1つ塗りつぶしてください。

1. 頻度		(1) ほとんどしない	(2) 月1回程度	(3) 月2～3回程度	(4) 月4日以上	
	マーク欄	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
2. 時間		(1) 30分以内	(2) 30分～ 1時間以内	(3) 1～2時間 以内	(4) 2～3時間 以内	(5) 3時間以上
	マーク欄	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

IV お子さんの食習慣の内容についてお聞きします。

問13 平日（月～土）の食事でご飯（米飯）を食べる頻度を教えてください。当てはまる○を1つ塗りつぶしてください。

朝・夕	食 べ る 頻 度					
1. 朝食		(1) 全く食べない	(2) 週1回以下	(3) 週2～3回	(4) 週4～5回	(5) ほぼ毎日
	マーク欄	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 夕食		(1) 全く食べない	(2) 週1回以下	(3) 週2～3回	(4) 週4～5回	(5) ほぼ毎日
	マーク欄	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

問14 1週間（1. については1日）の食べ物を摂る頻度についてお教えてください。当てはまる○を1つ塗りつぶしてください。

食 物	食 べ る 頻 度			
1. 野菜(いもは含まない)		(1) ほとんど 食べない	(2) 1日1食 食べる	(3) ほぼ毎食 食べる (1日2～3食)
	マーク欄	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

食 物	食 べ る 頻 度			
2. 果 物	(1) 週1回以下程度	(2) 週2～3日程度	(3) 週4～5日程度	(4) 週6～7日程度
	マーク欄	○	○	○
3. 大豆・大豆製品(豆腐・納豆など)	(1) 週1回以下程度	(2) 週2～3日程度	(3) 週4～5日程度	(4) 週6～7日程度
	マーク欄	○	○	○
4. 海藻類(わかめ・ひじきなど)	(1) 週1回以下程度	(2) 週2～3日程度	(3) 週4～5日程度	(4) 週6～7日程度
	マーク欄	○	○	○
5. いも類	(1) 週1回以下程度	(2) 週2～3日程度	(3) 週4～5日程度	(4) 週6～7日程度
	マーク欄	○	○	○
6. 魚介類	(1) 週1回以下程度	(2) 週2～3日程度	(3) 週4～5日程度	(4) 週6～7日程度
	マーク欄	○	○	○
7. 肉類	(1) 週1回以下程度	(2) 週2～3日程度	(3) 週4～5日程度	(4) 週6～7日程度
	マーク欄	○	○	○

問15 お子さんのおやつについて教えてください。

問15-1 おやつの時間を決めていますか。当てはまる○を1つ塗りつぶしてください。

- マーク欄
- (1) 15～17時までの間 ○
- (2) 夕飯の直前(1時間前くらい) ○
- (3) 夕飯の後から寝るまでの間 ○
- (4) 家でおやつは食べない。 ○

問15-2 おやつの量は決めていますか。

- マーク欄
- (1) 決めている。 ○
- (2) 決めていない。 ○

問16 おさんの食生活について教えてください。当てはまる○を1つ塗りつぶしてください。

内 容	食 べ る (飲 む ・ 行 く) 頻 度			
1. ジュー ス・甘い飲み 物	(1) ほとん ど飲まない	(2) 週1～ 2日程度	(3) 週3～ 5日程度	(4) 週6～ 7日程度
	マーク欄	○	○	○

内 容	食べる（飲む・行く）頻度				
2. 外食 (ファストフード、ファミレスなど)	(1) 全く行かない	(2) 月1～2回程度	(3) 週1～2回程度	(4) 週3～5回程度	(5) 週6～7回程度
マーク欄	○	○	○	○	○
2. インスタント食品(カップ麺、レトルト食品など)	(1) 全く食べない	(2) 月1～2回程度	(3) 週1～2回程度	(4) 週3～5回程度	(5) 週6～7回程度
マーク欄	○	○	○	○	○
4. 揚げ物 (スーパー等の総菜や外食で食べたものも含む。)	(1) 全く食べない	(2) 月1～2回程度	(3) 週1～2回程度	(4) 週3～5回程度	(5) 週6～7回程度
マーク欄	○	○	○	○	○

V 主に食事作りを担当する方のごことについてお聞きします。

問17 主に家庭で食事作りを担当する方をお教えてください。当てはまる○を1つ塗りつぶしてください。

(1) 父 (2) 母 (3) 祖父母 (4) その他

マーク欄 ○ ○ ○ ○

(具体的に：

) ←

問18 主に食事作りを担当する方の生活状況についてお教えてください。

	当てはまる○を1つ塗りつぶしてください				
1. 就労状況	(1) フルタイム	(2) パートもしくはアルバイト	(3) 働いていない		
マーク欄	○	○	○		
2. 帰宅時間	(1) 17時前	(2) 17～18時の間	(3) 18～19時の間	(4) 19～20時の間	(5) 20時以降
マーク欄	○	○	○	○	○
3. 起床時間	(1) 6時前	(2) 6～7時の間	(3) 7～8時の間	(4) 8時以降	
マーク欄	○	○	○	○	
4. 就寝時間	(1) 21時前	(2) 21～22時の間	(3) 22～23時の間	(4) 23時以降	
マーク欄	○	○	○	○	

問19 夕食の内容で多いものをお教えてください。当てはまる○を1つ塗りつぶしてください。

(1) 手作り (2) 出来合い(総菜、レトルト、冷凍食品など) (3) 外食(ファストフードを含む)

マーク欄 ○ ○ ○

問20 食事作りにつらさ感があったか教えてください。当てはまる○を1つ塗りつぶしてください。

- (1) 苦になる
えば苦になる
- (2) どちらかとい
え苦にならない
- (3) どちらかとい
え苦にならない
- (4) 苦にな
らない
- (5) 食事は作ら
ない(外食や総菜
を買ってくる)

マーク欄 ○ ○ ○ ○ ○

問21 野菜の入手方法について、震災前と震災後の両方をお教えてください。当てはまる○を1つ塗りつぶしてください。

1. 震災前	(1) 主に購入していた。	(2) 主に自家栽培していた。	(3) 半分購入して、半分自家栽培していた。	(4) その他
マーク欄	○	○	○	○
	(具体的に:)			←
2. 震災後	(1) 主に購入している。	(2) 主に自家栽培している。	(3) 半分購入して、半分自家栽培している。	(4) その他
マーク欄	○	○	○	○
	(具体的に:)			←

VI 保護者自身のことについてお聞きします。

問22 あなたは楽しく食事をしていますか。当てはまる○を1つ塗りつぶしてください。

- (1) していない
- (2) どちらかとい
えではない
- (3) どちらかとい
えはしている
- (4) している

マーク欄 ○ ○ ○ ○

問23 お子さんに対して運動をさせたいという意欲がありますか。当てはまる○を1つ塗りつぶしてください。

- (1) 運動させたくない
- (2) どちらかとい
えは運動させたくない
- (3) どちらかとい
えは運動させたい
- (4) 運動をさせたい

マーク欄 ○ ○ ○ ○

問24 あなたは自分自身のことを健康だと思えますか。当てはまる○を1つ塗りつぶしてください。

- (1) 健康でない
- (2) どちらかとい
えは健康でない
- (3) どちらかとい
えは健康である
- (4) 健康である

マーク欄 ○ ○ ○ ○

問26 あなたが考える子育て家庭に必要な地域のサポートは何ですか。当てはまるすべての〇を塗りつぶしてください。

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
	簡単レシピの紹介	安心できる野菜の直売	保育付きクッキング	近所の親子が集まって食事をする場	食の安全な知識	伝統食の紹介	遊びの場の提供	その他
マーク欄	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	(具体的に: _____)							

問27 あなたは、食の安全に関する情報収集はされていますか。当てはまる〇を1つ塗りつぶしてください

	(1)	(2)	(3)	(4)
	やっていない	どちらかという やっていない	どちらかという やっている	やっている
マーク欄	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

問28 あなたは、昨年(2015年)に食のセミナー等(クッキング教室や子どもの食に関する講演会など)に何回参加されましたか。当てはまる〇を1つ塗りつぶしてください。

	(1) 0回	(2) 1~2回	(3) 3~4回	(4) 5回以上
マーク欄	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

┌──────────────────────────────────┐
↓
問28-1 どのようなものに参加されましたか。
(具体的に: _____)

問29 あなたは、昨年(2015年)に親子で参加できるスポーツイベント(スポーツ教室や大会など)に何回参加されましたか。当てはまる〇を1つ塗りつぶしてください。

	(1) 0回	(2) 1~2回	(3) 3~4回	(4) 5回以上
マーク欄	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

┌──────────────────────────────────┐
↓
問29-1 どのようなものに参加されましたか。
(具体的に: _____)

お忙しいところ調査に御協力いただきありがとうございました。
この調査結果は現状の分析と解決に利用させていただきます。
そして、相双地域の10年後、20年後の大事な資料となります。
これからの子どもたちのために今後とも御協力よろしくお願ひします。
福島県相双保健福祉事務所

参考文献等

- 1 おいしく イキイキ 食育プラン「第三次福島県食育推進計画」 平成 27 年 3 月
福島県
- 2 平成 27 年度 乳幼児栄養調査結果 平成 28 年 8 月
厚生労働省 雇用均等・児童家庭局 母子保健課
- 3 2013 年度 郡山市子どもの心と体の育ち見守り事業調査報告 平成 26 年 6 月
「郡山市子どもの心と体の育ち見守り事業」調査研究委員会
- 4 食育に関する実態調査報告書 平成 20 年 3 月
会津大学短期大学部・福島県健康福祉部
- 5 平成 22 年度 保育所における児童の栄養・健康状態及び食育に対する意識・ニーズの
実態に関する調査報告書 平成 24 年 5 月
社団法人 日本栄養士会・全国福祉栄養士協議会
- 6 平成 26 年度福島県歯科保健情報システム集計結果
福島県保健福祉部健康増進課
- 7 福島県内の保育所等の園舎・園庭等の線量低減について（通知）平成 23 年 8 月 26 日
厚生労働省 雇用均等・児童家庭局長
- 8 川俣町における避難指示区域の解除について 平成 28 年 10 月 28 日
経済産業省 災害対策本部
- 9 福島県保健衛生雑誌 平成 28 年度福島県公衆衛生学会抄録集 p 17
「子どもとその保護者の食習慣と生活習慣に関する実態調査 ～相双地区の保護者の
精神健康度と子どもへの影響～」 平成 28 年 9 月 2 日
福島県相双保健福祉事務所、尚絅学院大学

<子どもの食を考える相双地域ネットワーク会議構成機関等>

子どもの食を考える相双地域ネットワーク会議構成機関（平成26～28年度）

医療団体	相馬郡医師会 双葉郡医師会 相馬歯科医師会 双葉郡歯科医師会 福島県栄養士会相双支部
市町村	管内12市町村
生産・販売関係	ふくしま未来農業協同組合 株式会社キクチ（フレスコキクチ）
保育・教育関係	南相馬市教育委員会 相馬市教育委員会 国公立幼稚園長会相馬地区 国公立幼稚園長会双葉地区 学校保健会養護教諭部会相馬支部 学校保健会養護教諭部会双葉支部 栄養教諭（相馬地区代表） 栄養教諭（双葉地区代表） 福島県保育協議会相双支部
ボランティア組織	相双地区食生活改善推進協議会
県機関	相双教育事務所 相双農林事務所 相双保健福祉事務所

子どもの食を考える相双地域ネットワーク会議ワーキング部会構成委員（平成27年度）

所属名	役職	氏名
尚綱学院大学 健康栄養学科	准教授	今野 暁子
尚綱学院大学 人間心理学科	准教授	小泉 嘉子
南相馬市立あずま保育園	園長	今野 満子
飯舘村立草野・飯樋幼稚園	副園長	鈴木 美智子
南相馬市立第二小学校	養護教諭	半谷 幸江
広野町立広野小学校	栄養教諭	福山 桂子
ふくしま未来農業協同組合	地域支援課職員	佐藤 文宏
相双農林事務所	主査	引地 力男
相双教育事務所	指導主事	百井 茂
相双保健福祉事務所	主幹兼副部長兼健康増進課長	中島 誠子

（敬省略。所属及び役職は、当時のものです。）

平成 27 (2015) 年度
「子どもとその保護者の食習慣や生活習慣」に関する実態調査
報 告 書

平成 2 9 年 3 月

発行者

福島県相双保健福祉事務所 健康福祉部 健康増進課

〒975-0031 福島県南相馬市原町区錦町一丁目 3 0 番地

T E L 0244-26-1138

F A X 0244-26-1139

尚綱学院大学

〒981-1295 宮城県名取市ゆりが丘 4 丁目 1 0 番地の 1

T E L 022-381-3300 (代表)

F A X 022-381-3325